

WALLZET AIRLOAK

クローゼットシステム収納 [ウォールゼット エアローク]

施工説明書

必ずお読みください

施工される方へ

施工前に製品をよくお確かめください。

品質管理には万全を期していますが、万一品質に不都合な点がございましたら、販売店様または弊社営業まですぐにご連絡ください。施工前の製品に限り、販売店様を通じて代替品と交換させていただきます。施工後の交換、補修はいたしかねますので必ず施工前にご確認をお願いします。

ご注意

ご使用になる前に必ずこの「施工説明書」をご一読いただきますよう、お願いいたします。間違った施工を行ないますと製品の品質劣化や損傷につながる可能性があります。本書にそわず施工を行なった場合については、当社での保証はしかねますのでご注意ください。

施工上のご注意



屋外禁止

内装専用の製品です。屋外での使用はできません。



キズ注意

施工時に部材表面をキズつけないようご注意ください。



水・湿気禁止

屋内でも直接水のかかる場所や湿度の高い場所での使用はしないでください。



火気厳禁

木質製品です。火気の取り扱いは充分お気をつけください。



テープ禁止

粘着テープ(セロハンテープ・シール等)を化粧面に貼らないでください。



溶剤厳禁

溶剤・薬品・油・インク等が付着しないようご注意ください。付着した場合はすぐに拭き取ってください。放置するとシミ・変色・劣化の原因となります。

目次

製品図面・パーツセット明細	1~4
施工前の確認事項	5
下地固定 躯体準備	6
下地固定 施工手順	7~9
間柱固定 躯体準備	10
間柱固定 施工手順	10~12
下地固定・間柱固定	
共通施工手順	13~20
設置位置イメージ	21~裏面

施工方法には下地固定と間柱固定があります。
下地の状態をご確認の上、施工を行なってください。

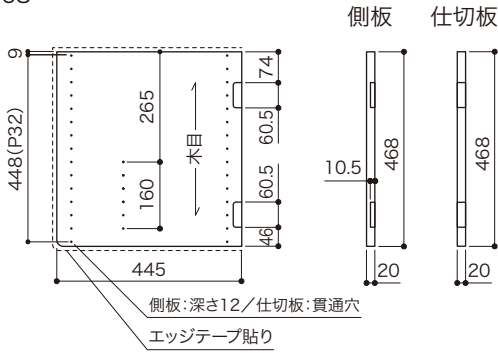
製品図面・パーツセット明細

寸法単位: mm

ベーシックパーツ 以下のパーツがすべて揃っているかをご確認ください。

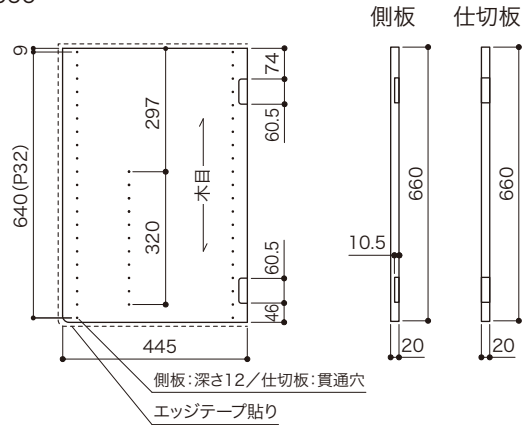
側板・仕切板 ※側板は、左右各1枚・計2枚入です。

H468



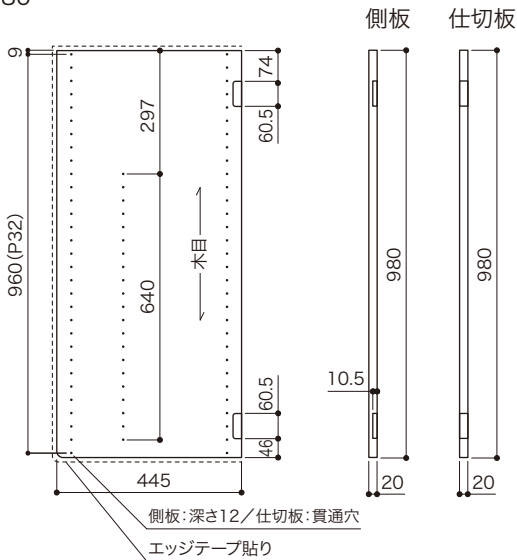
図面は左用。右用はこの対称形。

H660



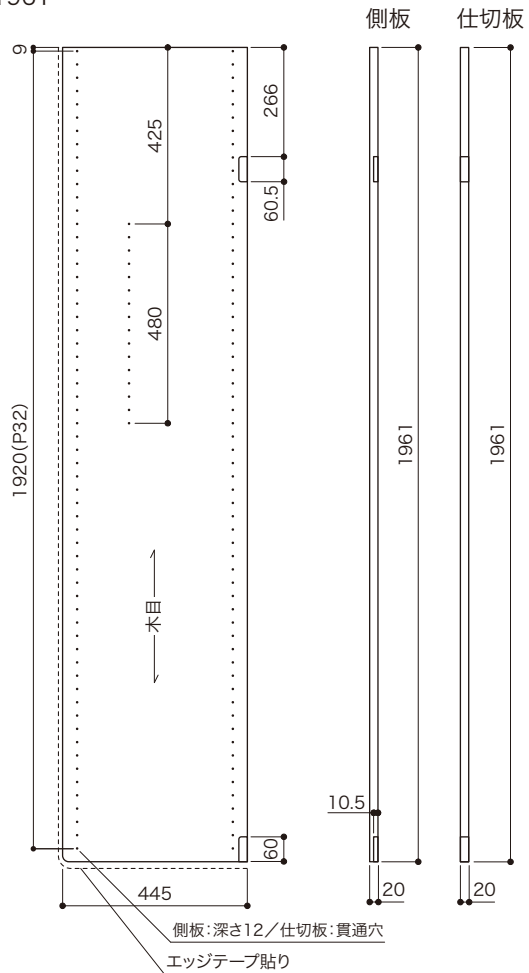
図面は左用。右用はこの対称形。

H980



図面は左用。右用はこの対称形。

H1961



図面は左用。右用はこの対称形。

品名	パーツ/サイズ	L字ブラケット	L字カバー	システムビスL=13.5	サラビスL=51	ビスキャップセット	バインドビスL=16	施工・取扱説明書
側板	H468・660・980	4個	4個	4本	16本	8セット	8本	各1式 ※
	H1961	4個	4個	4本	20本	12セット	8本	各1式 ※
仕切板		4個	4個	4本	8本	—	4本	—

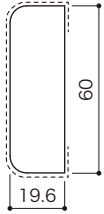
※サイズにより、「ウォールゼットエアロック」以外の製品に関する施工・取扱説明書が同梱されていますが、本製品の施工には必要ありません。

製品図面・パーツセット明細

寸法単位: mm

ベーシックパーツ 以下のパーツがすべて揃っているかをご確認ください。

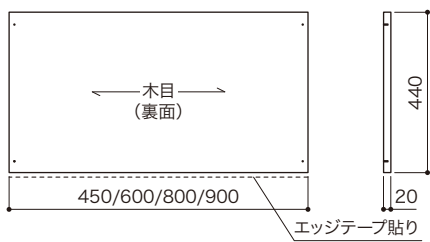
背壁棧木 ※上下各1本・計2本入です。



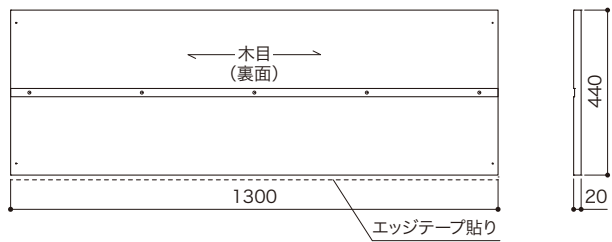
部品	サイズ	サラビスL=65	ビスキャップセット
	L950	6本	4セット
	L1430	8本	6セット
	L1950	10本	8セット
	L2950	14本	12セット

プラスアップパーツ 以下のパーツがすべて揃っているかをご確認ください。

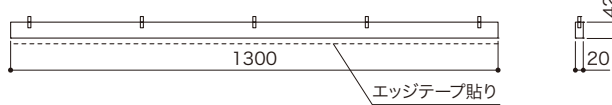
棚板(可動・固定兼用)



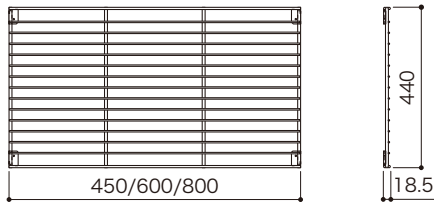
フリーカット棚板



■ 補強棧



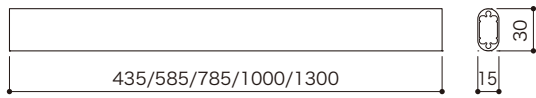
網棚(可動・固定兼用)



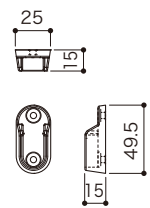
部品	パーツ	樹脂金具	バインドビスL=16	固定ネジL=10	可動棚受(前)	可動棚受(後)
	棚板	4個	8本	—	左右各1個	2個
	フリーカット棚板	6個	12本	—	—	—
	網棚	4個	4本	4本	左右各1個	2個

ハンガーパイプ

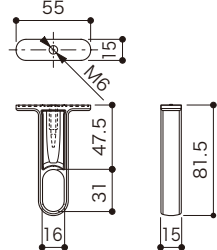
■ パイプ



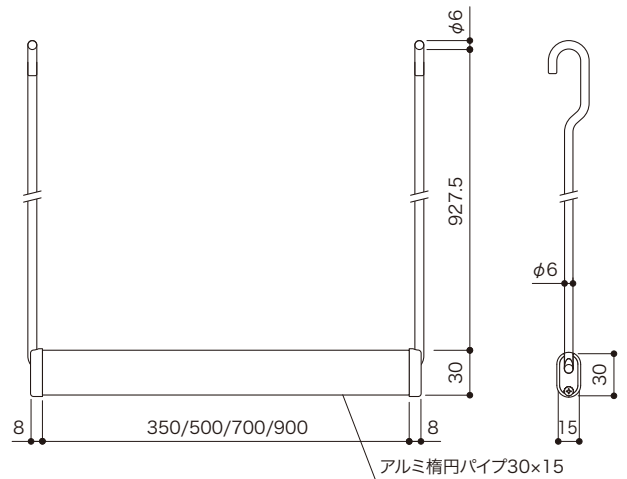
■ パイプソケット



■ 中吊ブラケット



フックハンガー



部品	サイズ	パイプソケット	バインドビスL=16	中吊ブラケットセット
	450・600・800	2個	4本	—
	1000・1300	2個	4本	1セット

部品	サイズ	サラビスL=16
		2本

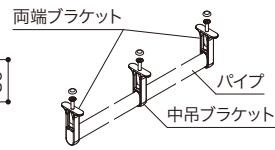
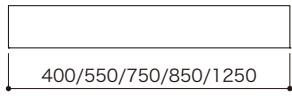
製品図面・パーツセット明細

寸法単位: mm

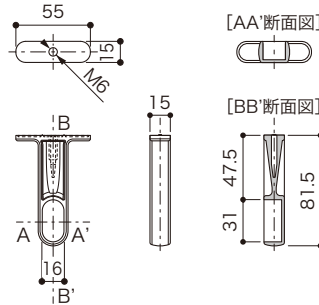
プラスアップパーツ 以下のパーツがすべて揃っているかをご確認ください。

上吊ハンガーパイプ

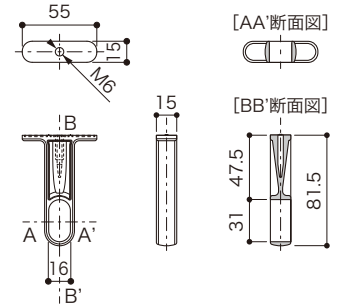
■ パイプ



■ 両端ブラケット



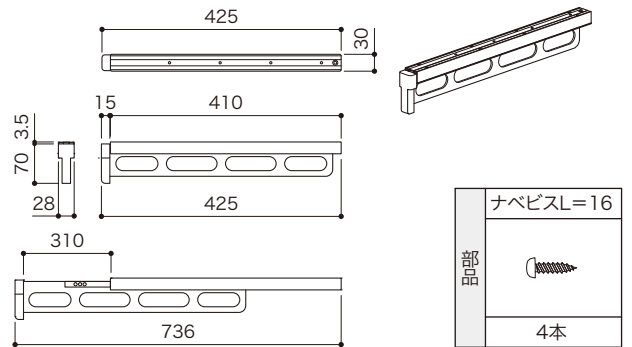
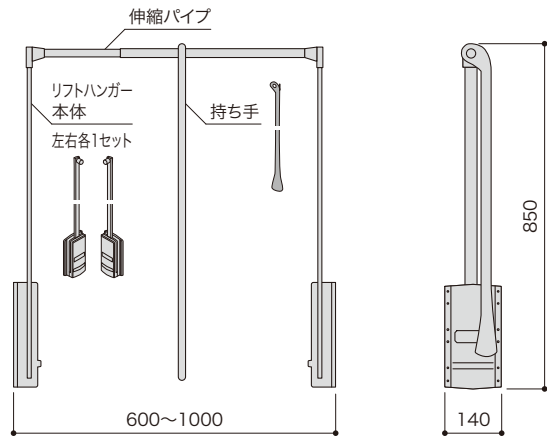
■ 中吊ブラケット



部品	サイズ	両端ブラケットセット	中吊ブラケットセット
		 両端ブラケット ボルト・ビスキャップ	 中吊ブラケット ボルト・ビスキャップ
	405・555・755・855	2セット	—
	1255	2セット	1セット

リフトハンガー ※パーツは組み上がっていない状態で梱包しています。

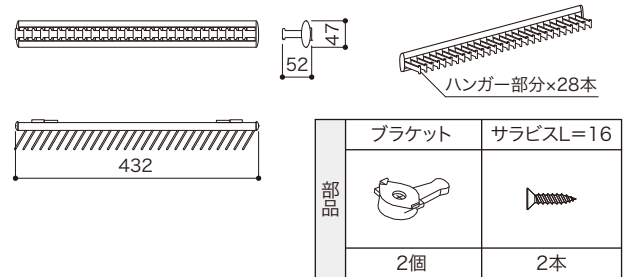
スライドハンガー



部品	ビスL=20	ビスL=32	上部スペーサー	ストッパー	六角レンチ
	24本	2本	2個	2個	1個

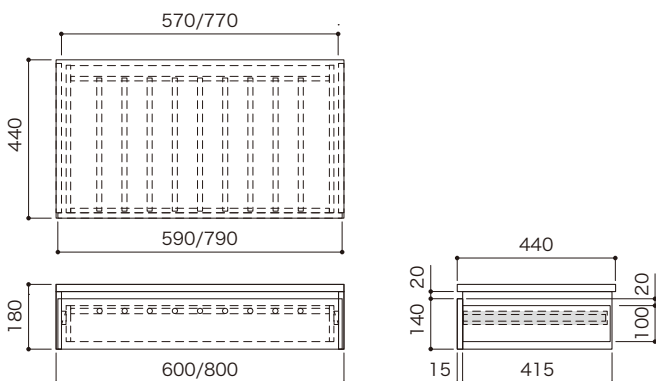
※六角レンチは、梱包の製品ラベル側に貼り付けています。

ネクタイハンガー

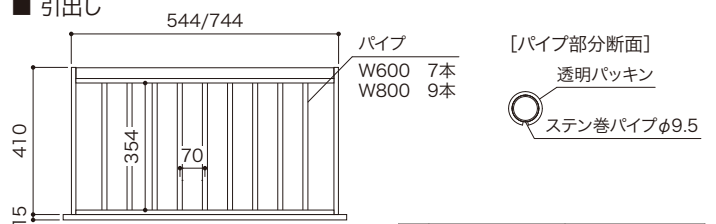


部品	ブラケット	サラビスL=16
	2個	2本

スラックスハンガー



■ 引出し



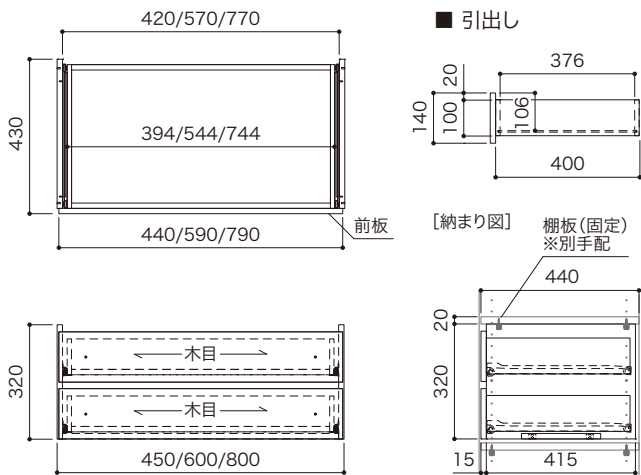
部品	ビスL=25	位置だしピン
	4本	4本

製品図面・パーツセット明細

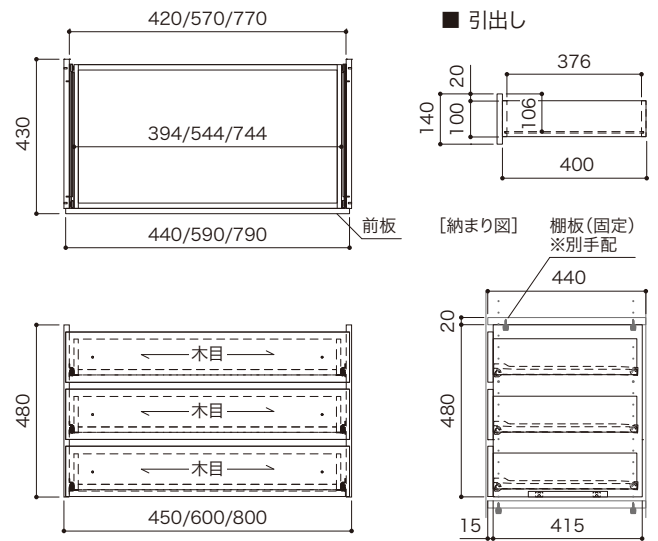
寸法単位:mm

プラスアップパーツ 以下のパーツがすべて揃っているかをご確認ください。

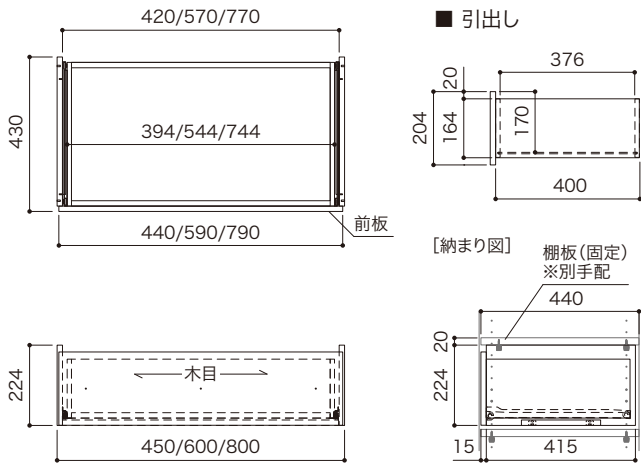
フレーム引出し2段



フレーム引出し3段

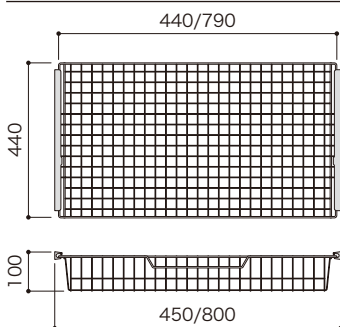


深型フレーム引出し1段



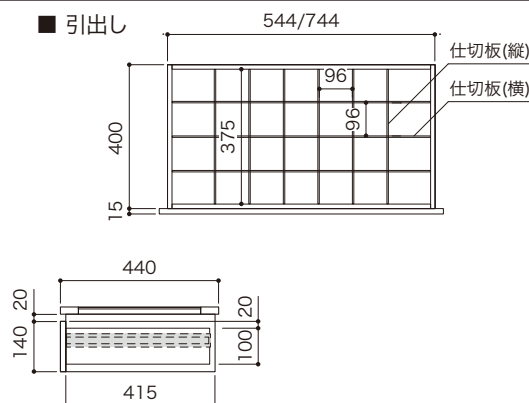
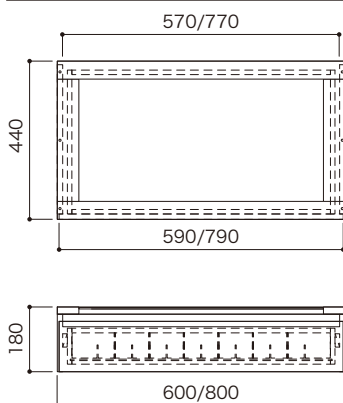
部品	パーツ/サイズ	ビスL=25	位置だしピン	連結板	ジョイント金具 シャフト	
	2段		14本		4本	1枚
3段		17本		4本	1枚	4本
深型		11本		4本	1枚	4本

バスケット



部品	バスケットレール	サラビスL=13	
			左右各1本

ギャラリーケース



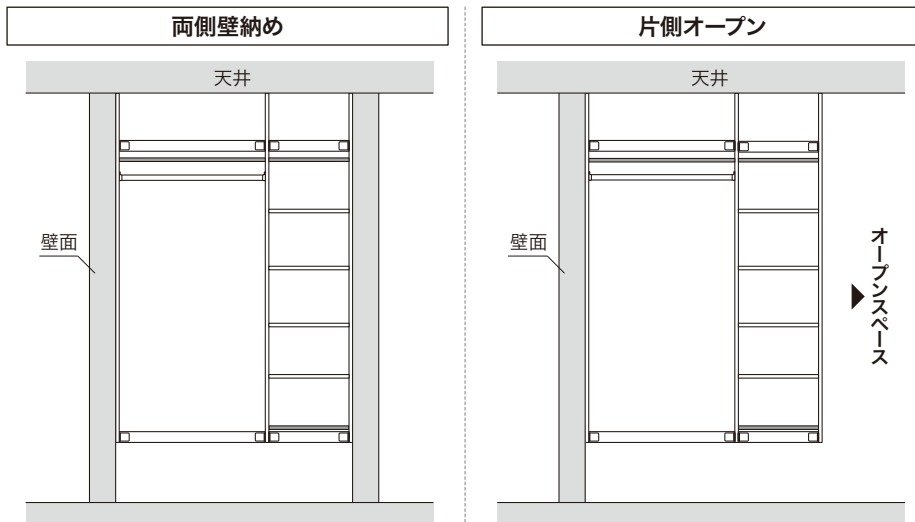
サイズ	仕切板枚数	
	縦	横
W600	4	3
W800	6	3

部品	ビスL=25	位置だしピン	
			4本

施工前の確認事項

[設置条件について]

設置方法には **両側壁納め** ・ **片側オープン** の2パターンがあります。
プランによって、施工方法・条件が異なりますので、施工前に必ず、以下の説明をお読みください。



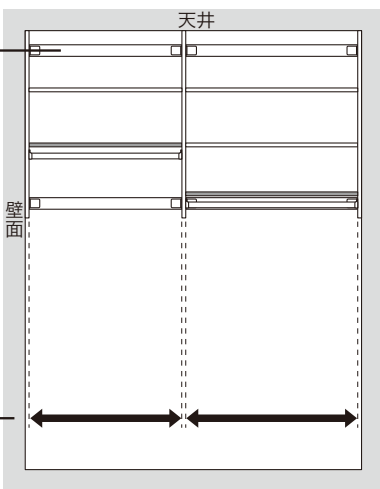
部材設置イメージ図

本製品は天井付けで施工してください。

リフトハンガーについて
天井高により、持ち手が届きにくくなる場合がありますのでリフトハンガーの取り付け位置を調整してください。
※側板H468・660プラン:リフトハンガーを取り付けることはできません。

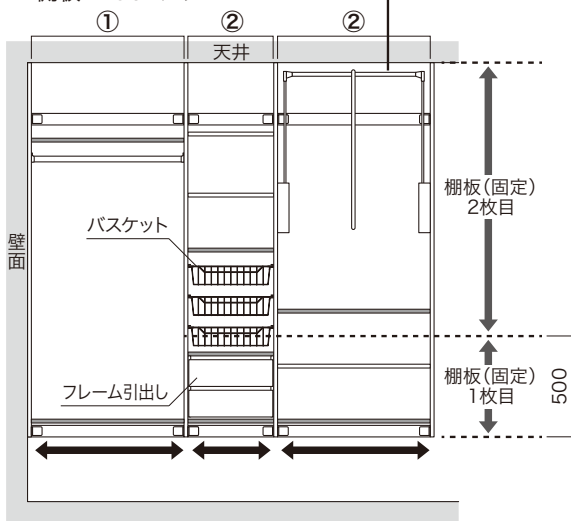
背壁棧木の設置位置について
背壁棧木は側板から側板の間で納めてください。

■ 側板H468・660・980プラン



間口カットについて
以下のパーツを設置する列は間口カットができません。
・網棚
・スラックスハンガー
・フレーム引出し
・バスケット
・ギャラリーケース
また、リフトハンガーを設置する列は調整範囲内(リフトハンガー)でのカットにしてください。

■ 側板H1961プラン



各棚板を設置する場合

■ 側板H468・660・980プラン

すべての列に各棚板(固定)を1箇所以上設置してください。

■ 側板H1961プラン

●複数列のプラン: 壁に接する列(上図①)は1列に各棚板(固定)を1枚以上設置してください。その他の列(上図②)は1列に各棚板(固定)を2枚以上設置してください。

1列 **片側オープン** のプラン: 各棚板(固定)を2枚以上設置してください。

設置高について

各棚板(固定)を2枚以上設置する場合、1枚目:側板・仕切板の下面から500mmまでに設置
2枚目:側板・仕切板の下面から500mm以上に設置

※壁に接する列(上図①)は設置高の制限はありません。

●フレーム引出しを取り付ける場合は、上下に1枚ずつ必ず棚板(固定)を設置してください。

●バスケットを取り付ける場合は、上下に1枚ずつ必ず棚板(固定)、網棚(固定)のいずれかを設置してください。

●ハンガーパイプを取り付ける場合は、上部に各棚板(固定)を設置してください。

各棚板について **各棚板** 棚板/網棚/フリーカット棚板の3種類があります。


施工方法には、 下地固定と間柱固定があります。

下地固定：6ページ～

間柱固定：10ページへ

躯体準備 | 下地固定

寸法単位：mm

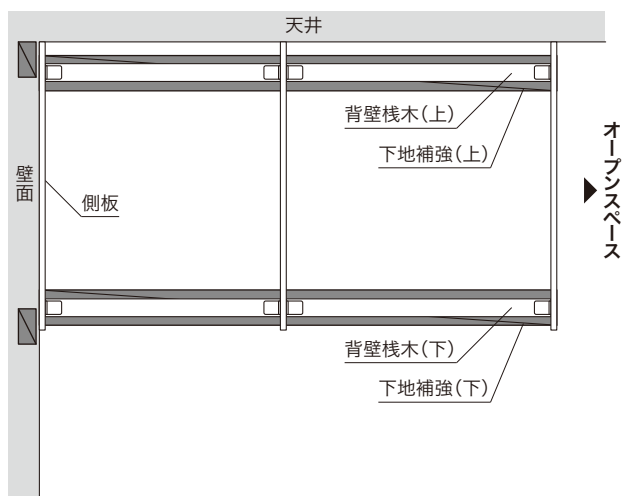
- 施工前に躯体の垂直・直角を確認してください。
- 躯体や側板・仕切板と背壁栈木の垂直・直角がとれていないと、各棚板の可動に影響が出ますのでご注意ください。
- あらかじめ背壁栈木を取り付ける部分に補強栈木や12mm厚以上の合板(現場調達)で下地補強をしてください。(設置位置は下図参照)
また、各側板を壁面に取り付ける場合にも、ビスの取付位置に同様の補強が必要です。
- 背壁栈木の取り付けピッチを考慮して下地補強位置を決定してください。  : 下地補強位置

背壁栈木取り付けピッチ：側板H468:288mm / 側板H660:480mm / 側板H980:800mm / 側板H1961:1635mm
※上下の下地補強が水平・平行に取り付いていることをご確認ください。

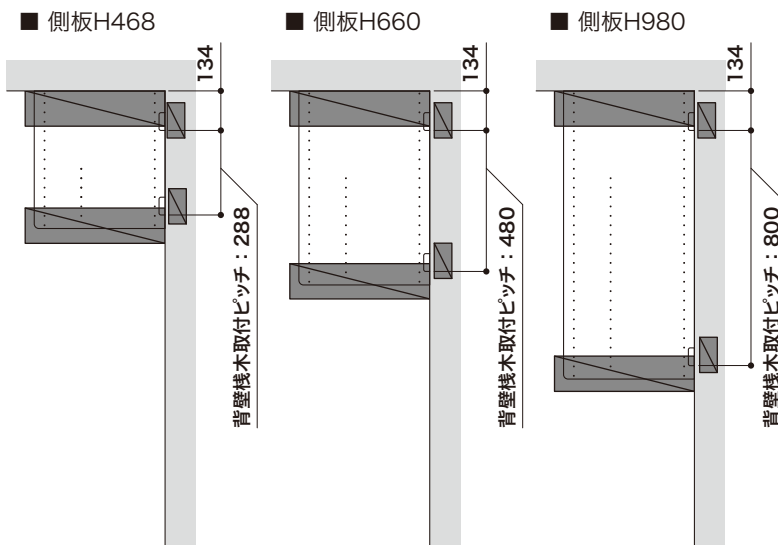
■ 側板H468・660・980プラン

[正面図]

※下図は側板H980を表記しています。

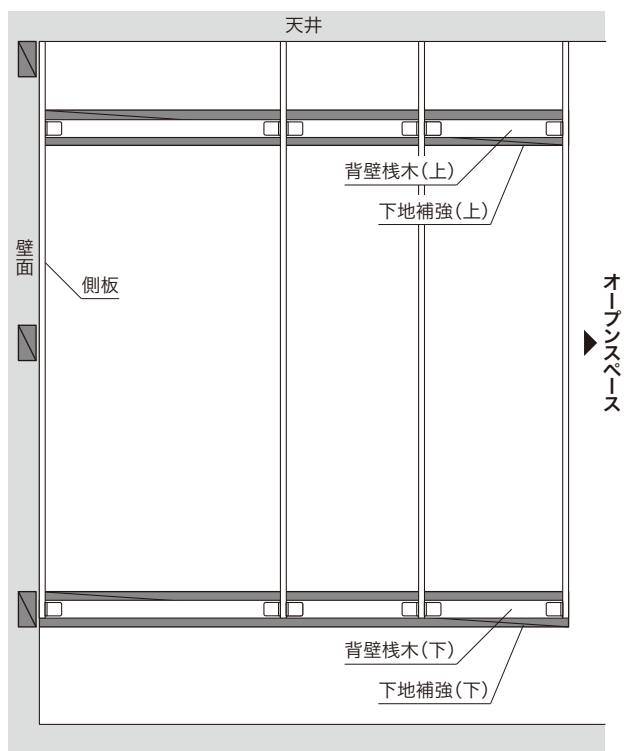


[断面図]

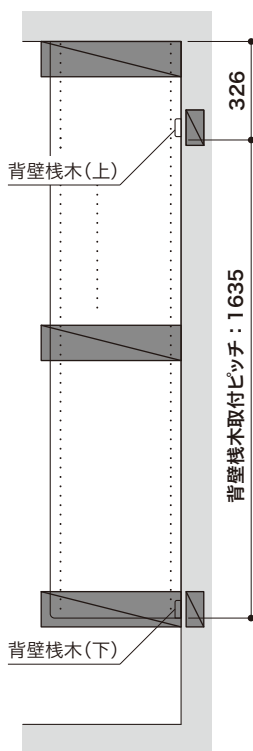


■ 側板H1961プラン

[正面図]



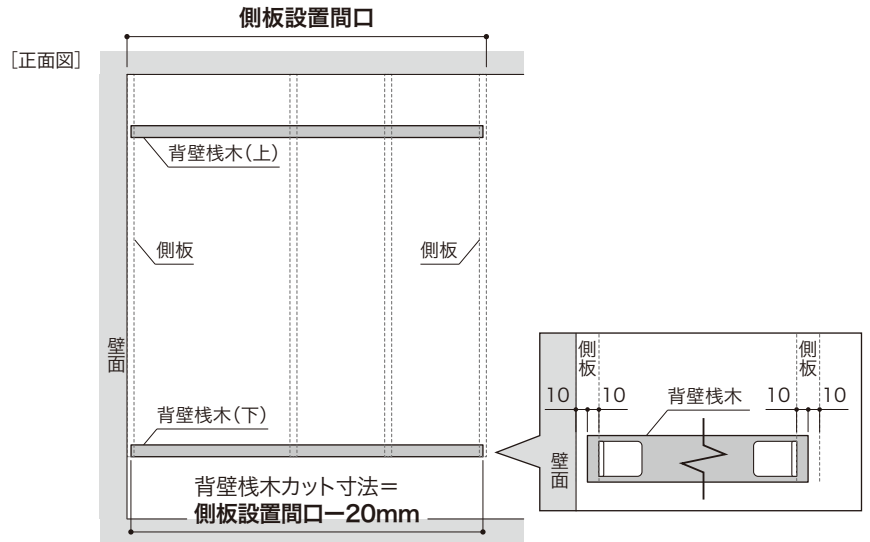
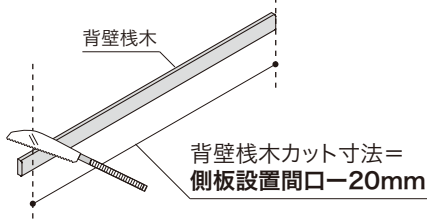
[断面図]



1 背壁栈木の取り付け

1 背壁栈木のカット

設置プランを確認後、背壁栈木をカットします。
(背壁栈木カット寸法: 下図参照)



2 取り付け位置の墨出し

右図を参考に背壁栈木の取り付け位置を墨出しします。

床面と背壁栈木が水平になることをご確認ください。

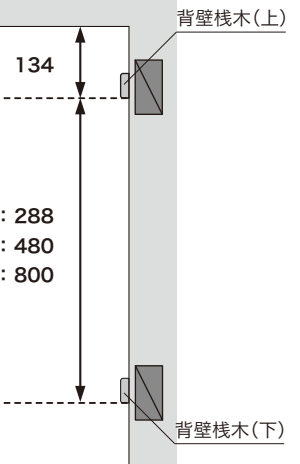
■ 側板H468・660・980プラン

[断面図]

天井から背壁栈木(上)下面の間隔が**134mm**空くように墨出ししてください。

背壁栈木(下)下面から背壁栈木(上)下面の間隔が
側板H468 : 288mm
側板H660 : 480mm
側板H980 : 800mm
 空くように墨出ししてください。

側板H468 : 288
 側板H660 : 480
 側板H980 : 800

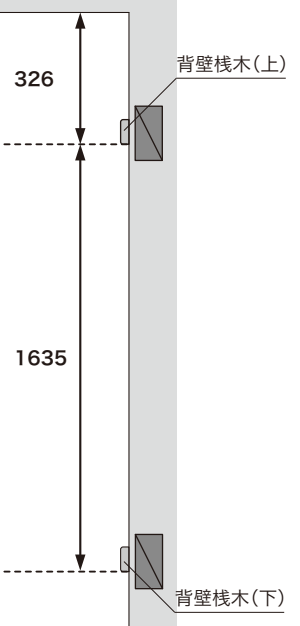


■ 側板H1961プラン

[断面図]

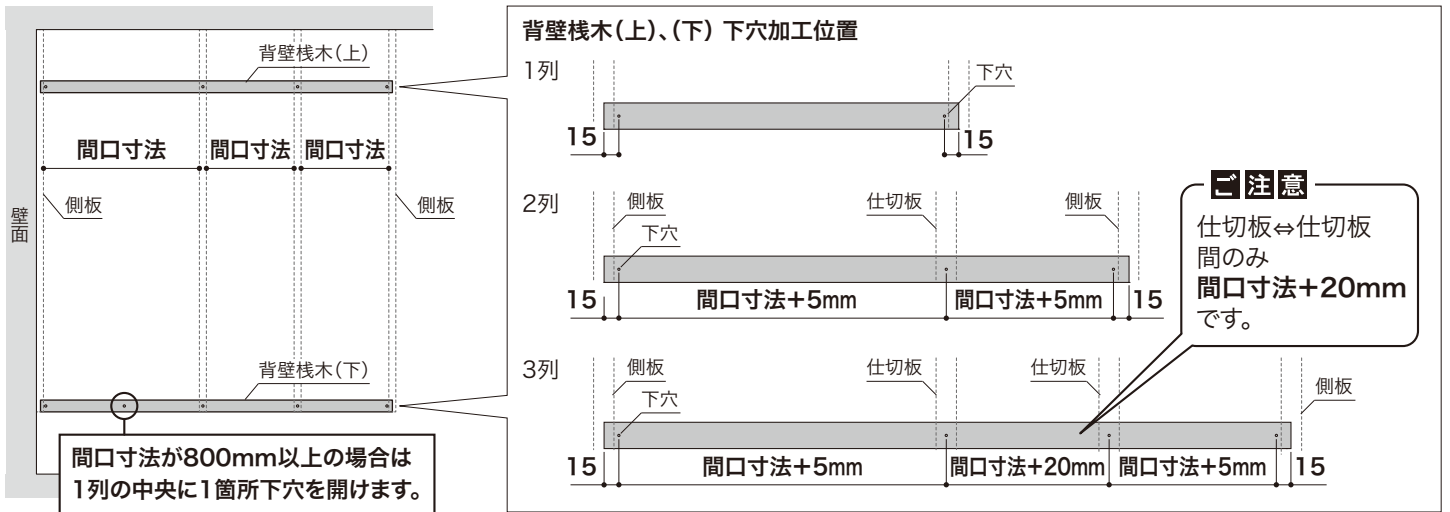
天井から背壁栈木(上)下面の間隔が**326mm**空くように墨出ししてください。

背壁栈木(下)下面から背壁栈木(上)下面の間隔が
1635mm空くように墨出ししてください。



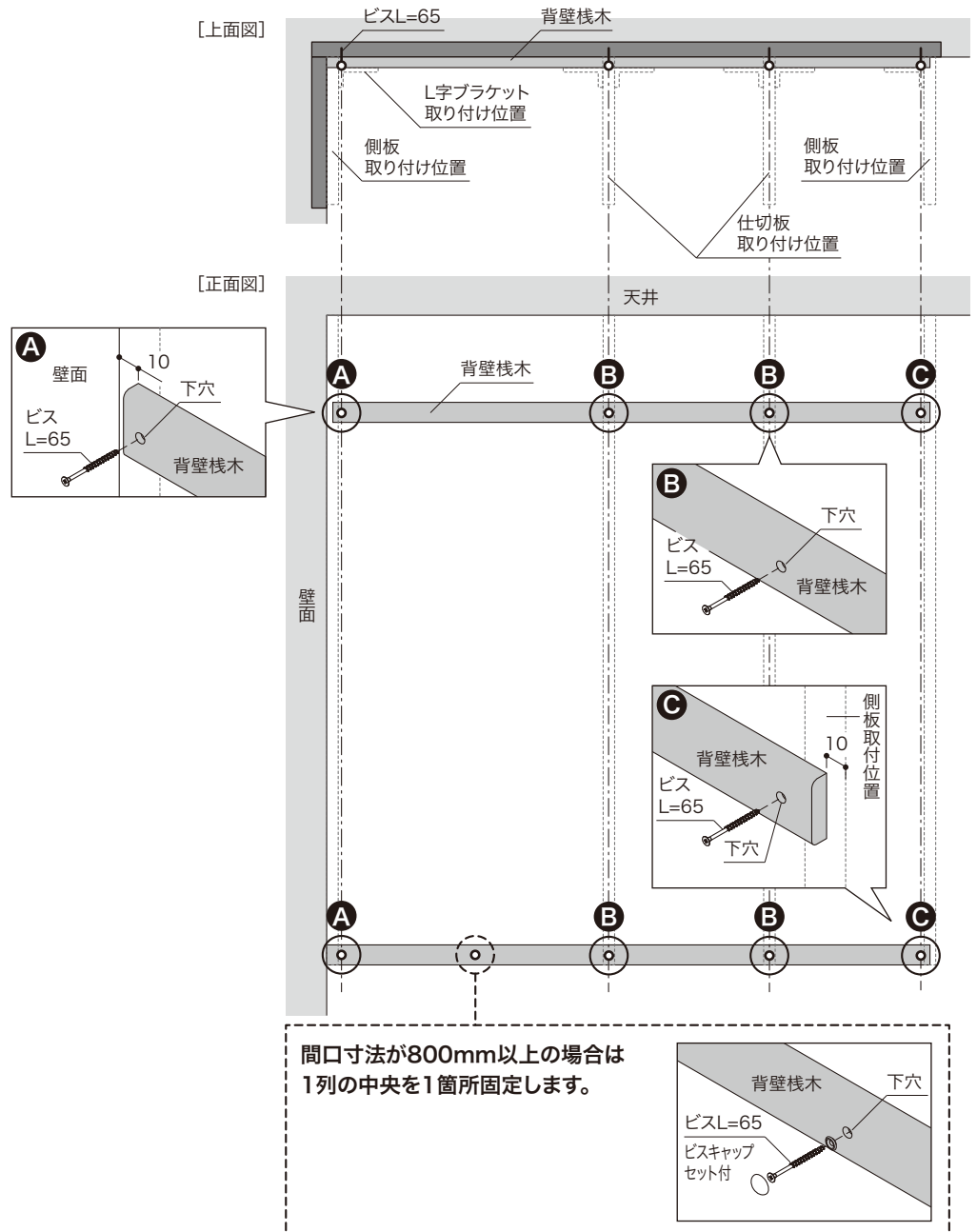
3 下穴加工

ビス頭が飛び出ないようにビスL=65を打つ位置に4mmのキリで下穴を開けます。(下穴加工位置:下図参照)



4 背壁栈木の取り付け

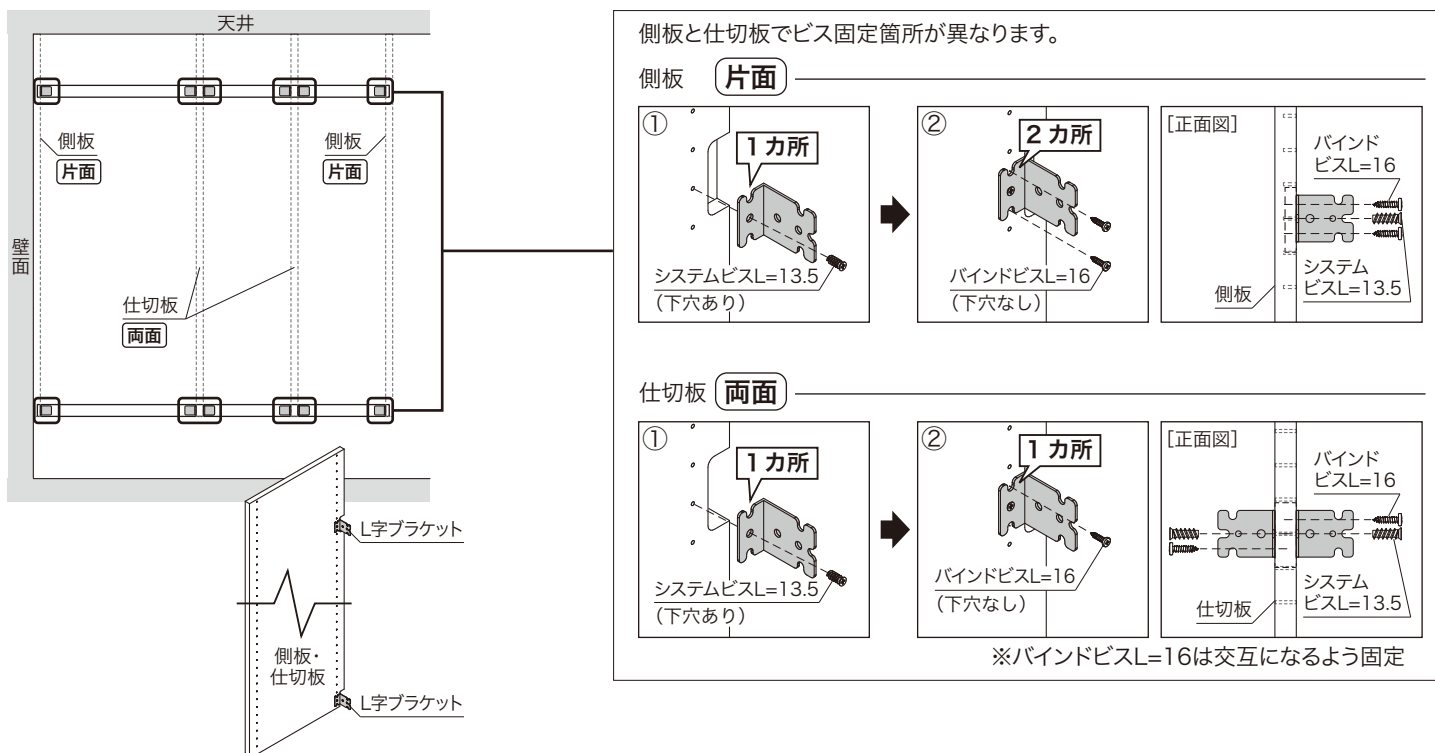
下穴に向かってビスL=65で背壁栈木を壁に固定します。
その際、ビス頭が飛び出さないようにしてください。



2 側板・仕切板へL字ブラケットの取り付け

L字ブラケットの取り付け方向にご注意ください。

側板は片面に、仕切板は両面にL字ブラケットを取り付けてください。

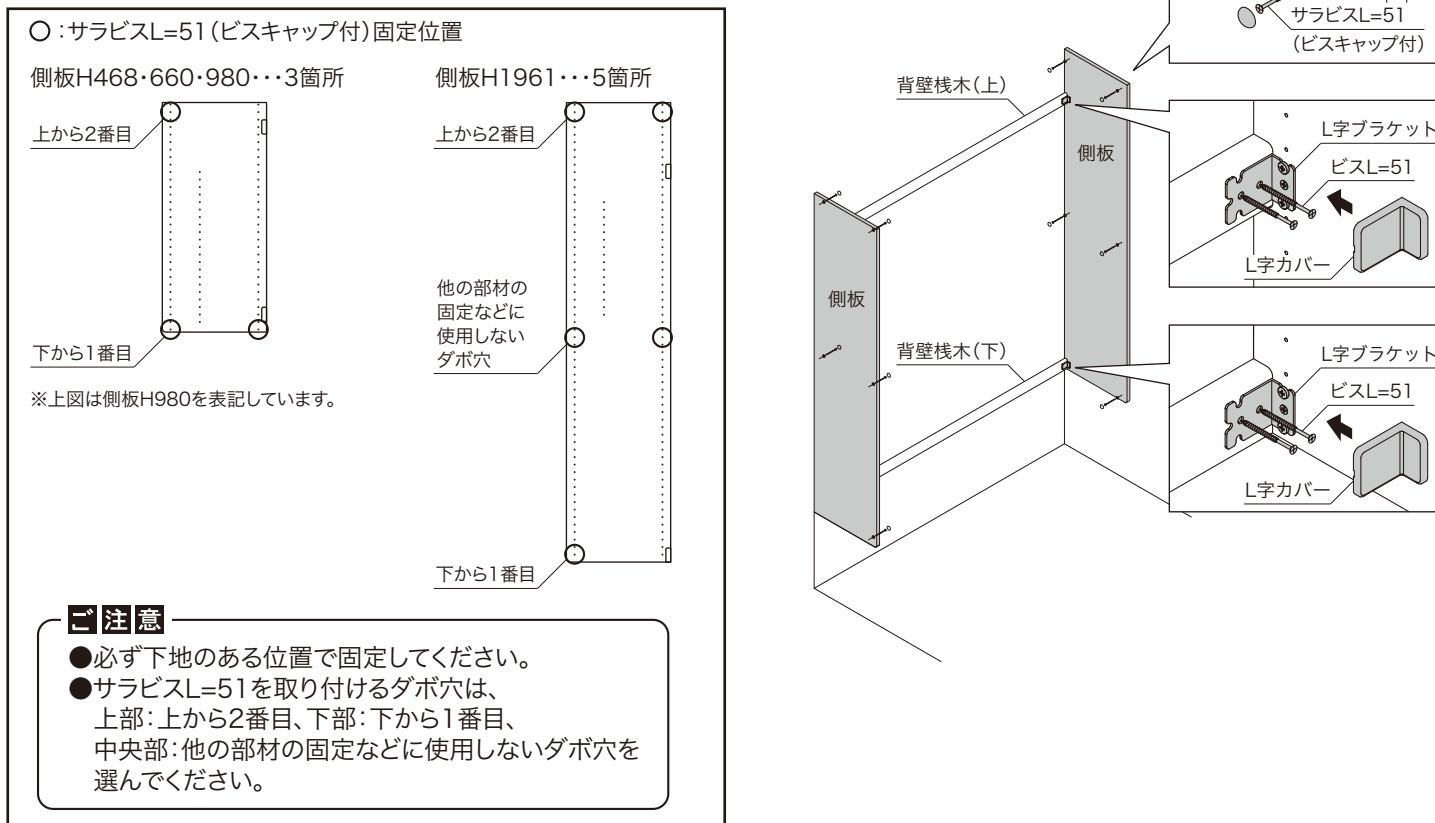


3 側板の取り付け

側板と背壁桟木が垂直になることをご確認ください。

背壁桟木に側板の切り欠きを引っ掛け、L字ブラケットをビスL=51で固定しL字カバーを取り付けます。

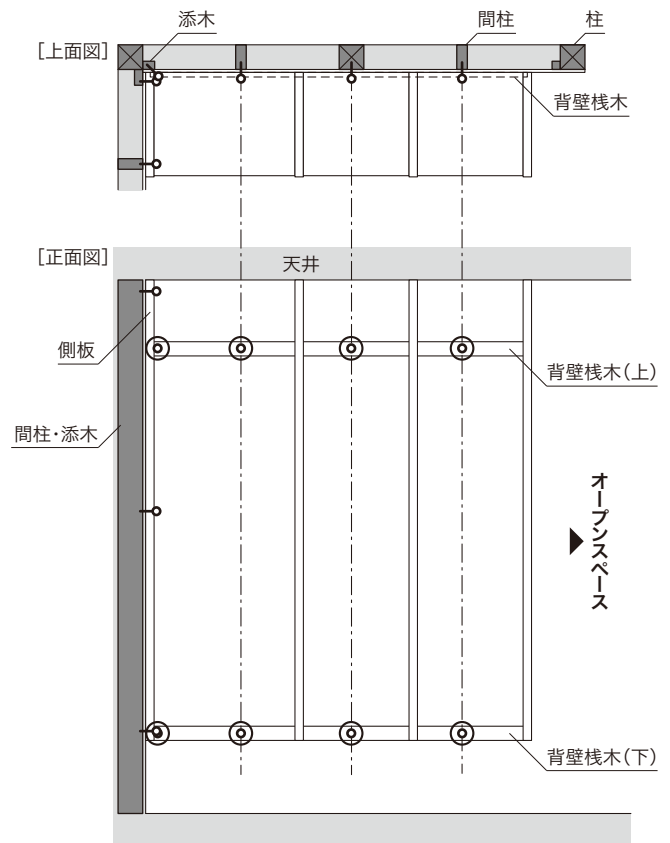
また、壁面に接する側板を壁に固定します。側板を躯体にサラビスL=51で固定し、ビスキャップを取り付けます。



躯体準備 間柱固定

寸法単位: mm

- 施工前に躯体の垂直・直角、柱・間柱・添木の位置を確認してください。
- :ビス固定位置
- 躯体や側板・仕切板と背壁栈木の垂直・直角がとれていないと、各棚板の可動に影響が出ますのでご注意ください。



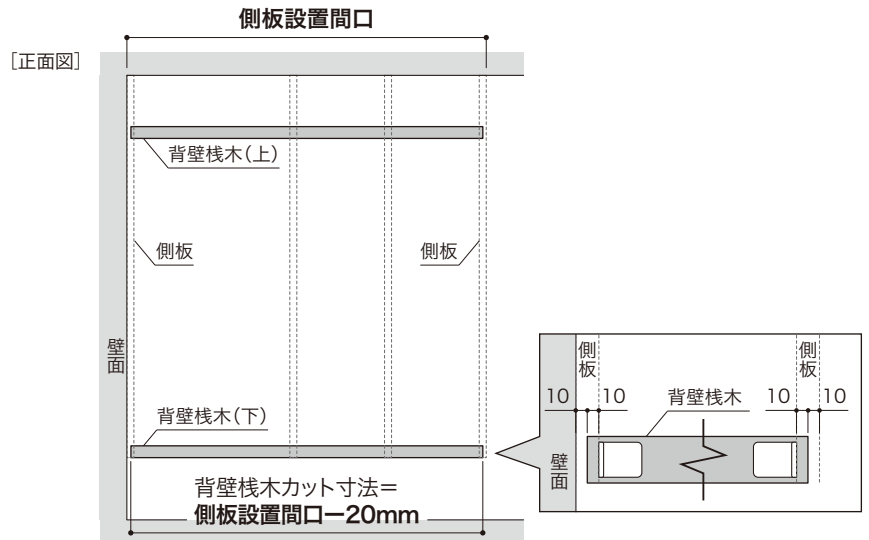
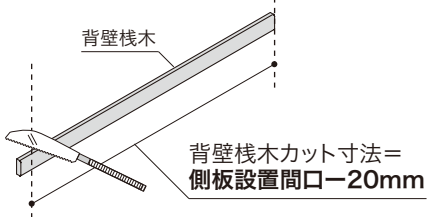
施工手順 間柱固定

寸法単位: mm

1 背壁栈木の取り付け

1 背壁栈木のカット

設置プランを確認後、背壁栈木をカットします。
(背壁栈木カット寸法: 下図参照)



2 取り付け位置の墨出し

右図を参考に背壁栈木の取り付け位置を墨出します。

床面と背壁栈木が水平になることをご確認ください。

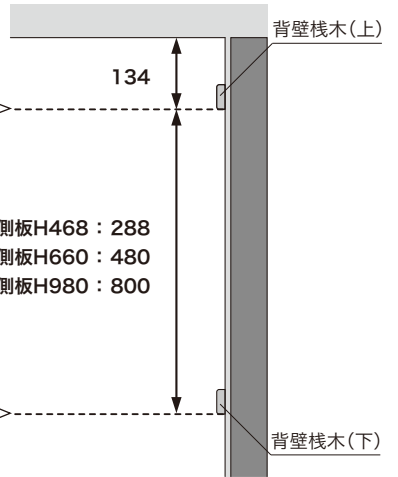
■ 側板H468・660・980プラン

[断面図]

天井から背壁栈木(上)下面の間隔が**134mm**空くように墨出ししてください。

背壁栈木(下)下面から背壁栈木(上)下面の間隔が
側板H468 : 288mm
側板H660 : 480mm
側板H980 : 800mm
 空くように墨出ししてください。

側板H468 : 288
 側板H660 : 480
 側板H980 : 800



■ 側板H1961プラン

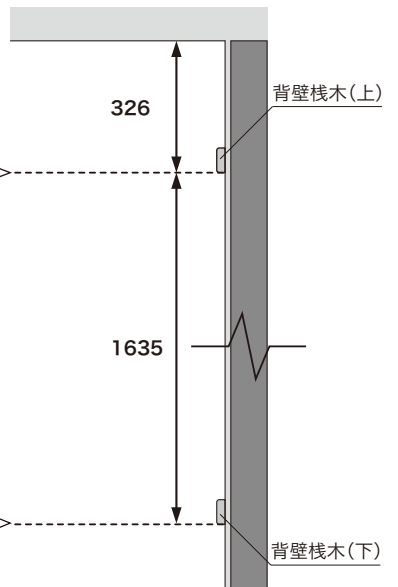
[断面図]

天井から背壁栈木(上)下面の間隔が**326mm**空くように墨出ししてください。

背壁栈木(下)下面から背壁栈木(上)下面の間隔が
1635mm空くように墨出ししてください。

326

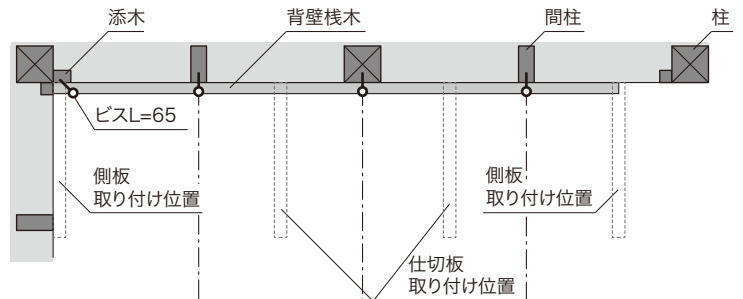
1635



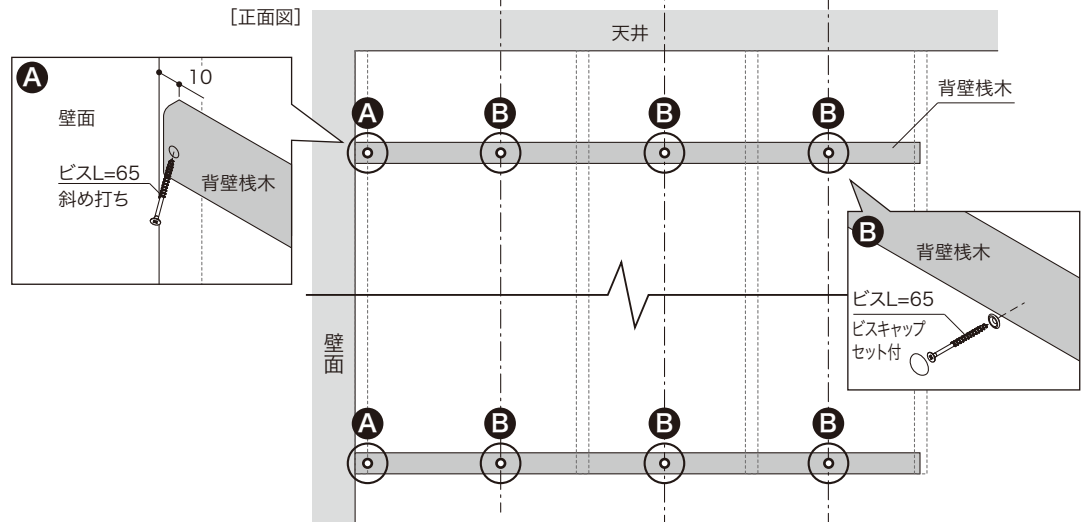
3 背壁栈木の取り付け

柱・間柱・添木に向かってビスL=65で背壁栈木を壁に固定します。添木へビス打ちする際は、下穴加工を行ない、ビス頭が飛び出さないようにしてください。

[上面図]



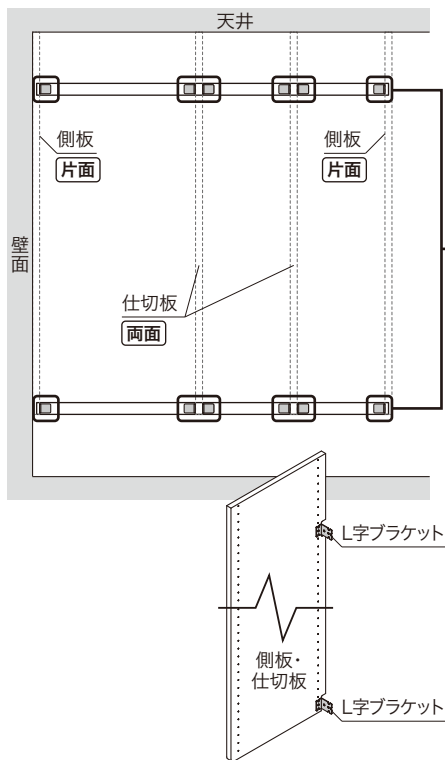
[正面図]



2 側板・仕切板へL字ブラケットの取り付け

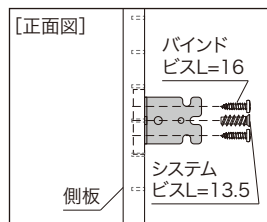
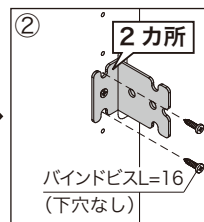
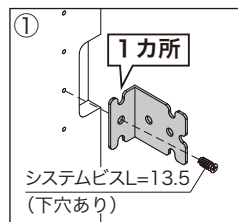
L字ブラケットの取り付け方向にご注意ください。

側板は片面に、仕切板は両面にL字ブラケットを取り付けてください。

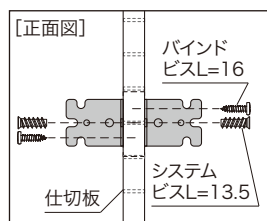
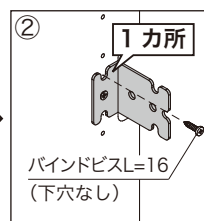
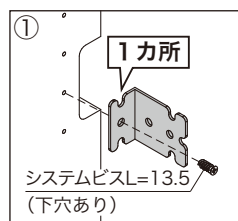


側板と仕切板でビス固定箇所が異なります。

側板 **片面**



仕切板 **両面**



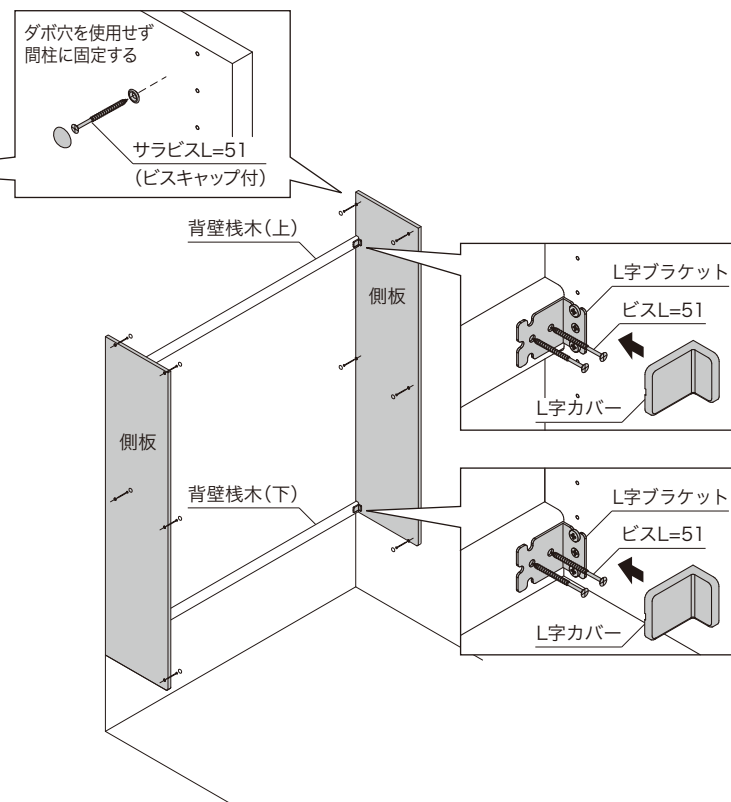
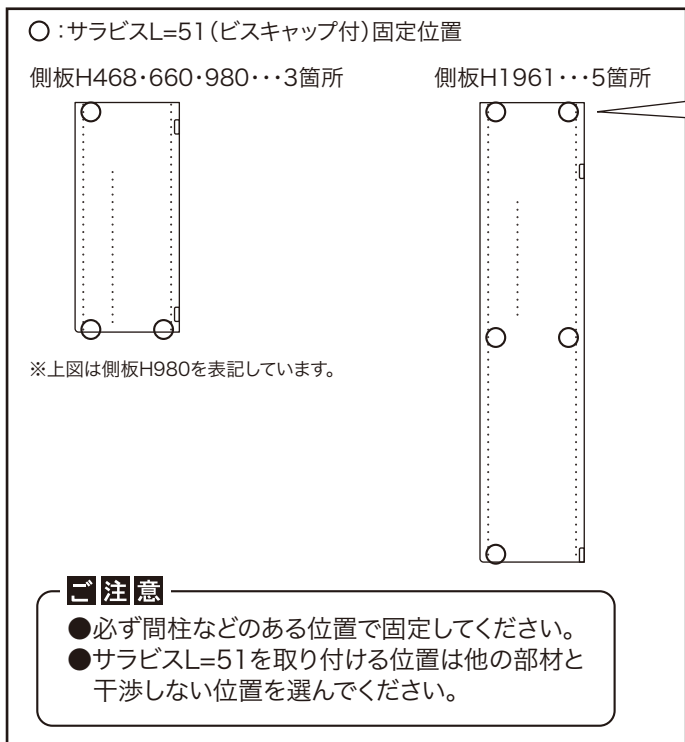
※バインドビスL=16は交互になるよう固定

3 側板の取り付け

側板と背壁桟木が垂直になることをご確認ください。

背壁桟木に側板の切り欠きを引っ掛け、L字ブラケットをビスL=51で固定しL字カバーを取り付けます。

また、壁面に接する側板を壁に固定します。側板を躯体にサラビスL=51で固定し、ビスキャップを取り付けます。



4 仕切板の取り付け

仕切板と背壁桟木が垂直になることをご確認ください。

1 取り付け位置の墨出し

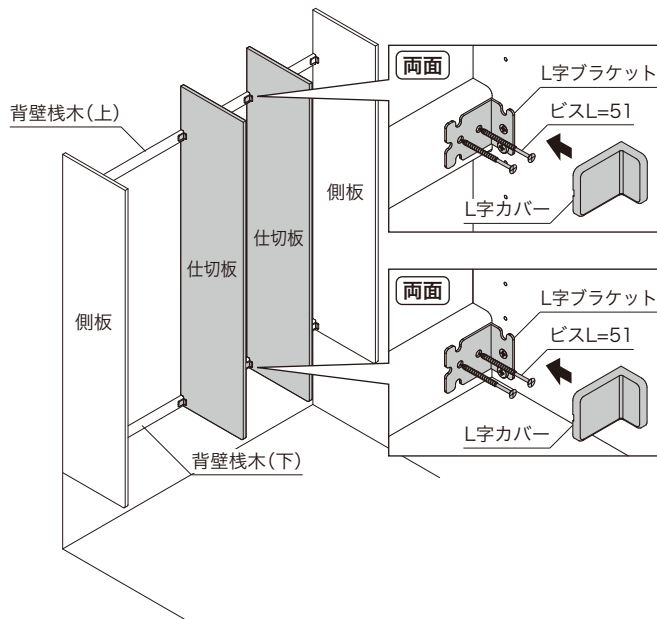
設置予定部材の寸法を測り、仕切板の固定位置を墨出しします。

2 背壁桟木へ仕切板を取り付け

背壁桟木(上)・(下)に仕切板の切り欠きを引っ掛け、L字ブラケットをビスL=51で固定しL字カバーを取り付けます。仕切板は両面固定してください。

ご注意

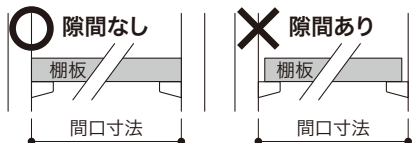
天井をキズつけないようご注意ください。



5 各棚板(固定)の取り付け

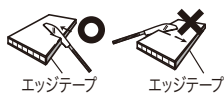
カットする場合(棚板のみ)

間口寸法と同寸法に棚板をカットします。



ご注意

- 必ずエッジテープ側からカットしてください。反対側からカットすると、エッジテープが剥がれるおそれがあります。
- 網棚はカットできません。



樹脂金具について

樹脂金具は施工後に、側板・仕切板の微調整ができるよう、片方の穴が楕円になっています。側板・仕切板には必ず樹脂金具の正円の穴が当たるように固定してください。

樹脂金具 **正円** → ダボ穴/側板・仕切板
 樹脂金具 **楕円** → 下穴/各棚板(固定)

ご注意

バインドビスの締め過ぎにご注意ください。ビスが空回りすると、保持力がなくなり全体の強度を保てなくなる可能性があります。

リフトハンガー設置プランの場合

各棚板(固定)を取り付ける前に、リフトハンガー、各棚板(固定)の取り付け位置を決定してください。

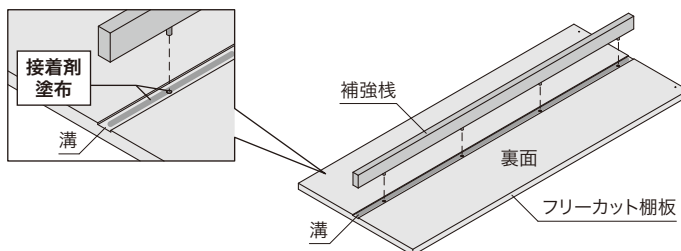
取り付け位置詳細: 22ページ~

1 補強棧の固定(フリーカット棚板のみ)

棚板裏面の溝部分とダボ穴に酢酸ビニル樹脂系接着剤(現場調達)を塗布し、補強棧を固定後、接着剤がなじむように圧着してください。

ご注意

- 補強棧が棚板からはみ出さないよう注意してください。
- 組み立てには必ず当て木を使用してください。
- 最低24時間静置・養生してください。



2 棚板の固定

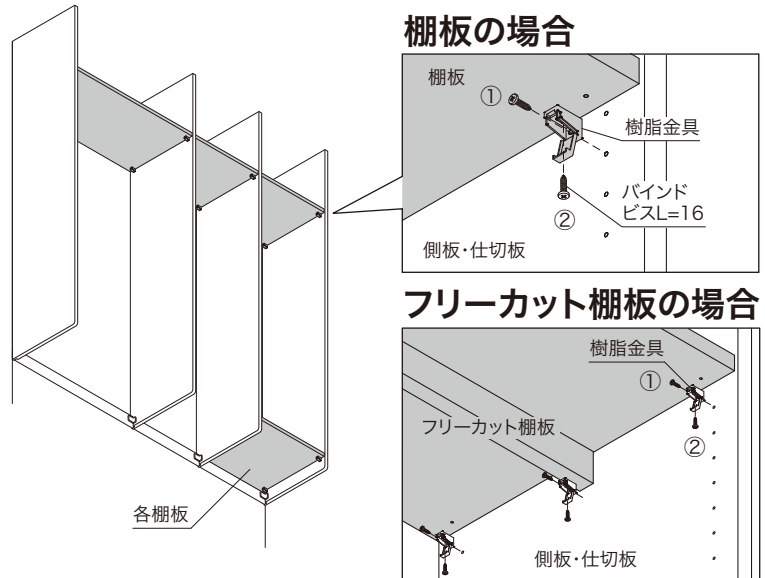
各棚板と側板・仕切板のダボ穴を樹脂金具を使って右図のように固定してください。

ご注意

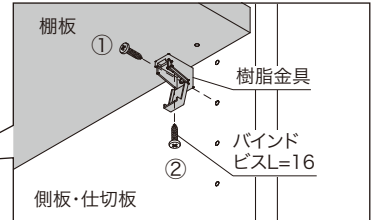
- 網棚は金属部分で側板・仕切板にキズをつけないようご注意ください。
- 使用するダボ穴の位置が同じ高さになるようにご確認ください。

樹脂金具固定位置

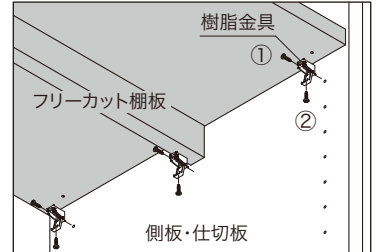
棚板	前後2カ所×左右
網棚	前後、補強棧下部3箇所×左右 (補強棧下部 下穴なし)



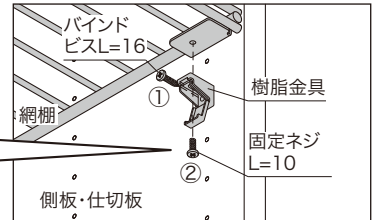
棚板の場合



フリーカット棚板の場合



網棚の場合



ご注意

電動式ドライバー使用禁止

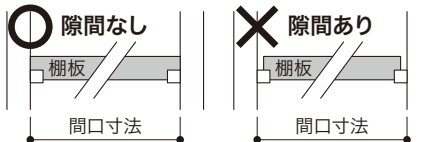


6 各棚板(可動)の取り付け

躯体や側板・仕切板と背壁棧木の垂直・直角がとれていないと、各棚板の可動に影響が出ますのでご注意ください。

カットする場合(棚板のみ)

間口寸法と同寸法に棚板をカットします。



ご注意

- 必ずエッジテープ側からカットしてください。反対側からカットすると、エッジテープが剥がれるおそれがあります。
- 網棚はカットできません。



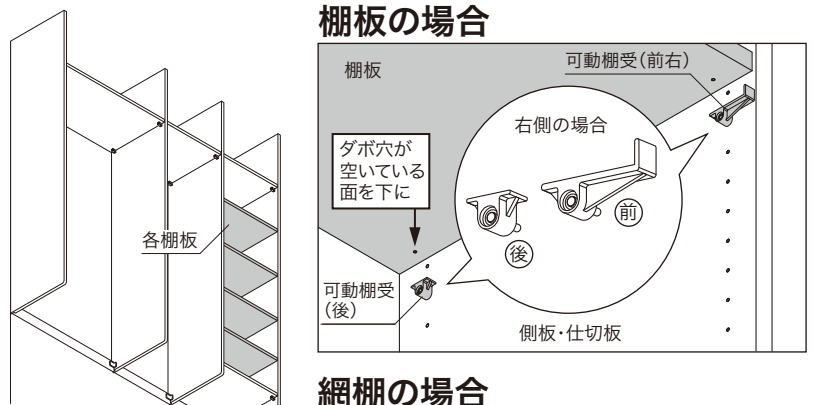
可動棚受をダボ穴に奥までしっかり差し込み、各棚板をのせてください。

※可動棚受前用には前右・前左があり、形状が異なりますので取り付け時ご注意ください。

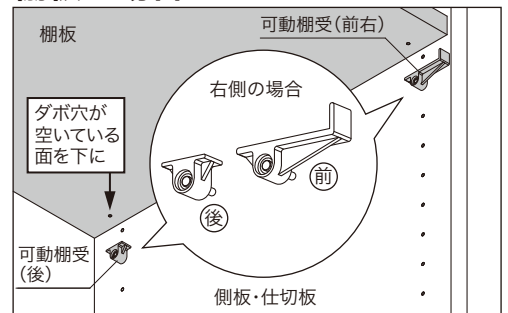
ご注意

- 網棚は金属部分で側板・仕切板にキズをつけないようご注意ください。
- 使用するダボ穴の位置が同じ高さになるようにご確認ください。

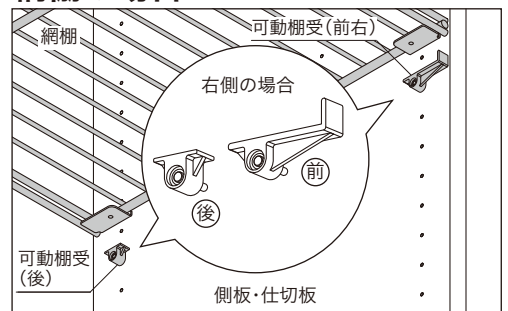
可動棚受取付位置・・・前後2カ所×左右



棚板の場合



網棚の場合



7 ハンガーパイプの取り付け

取り付け位置詳細：22ページ～

ご注意

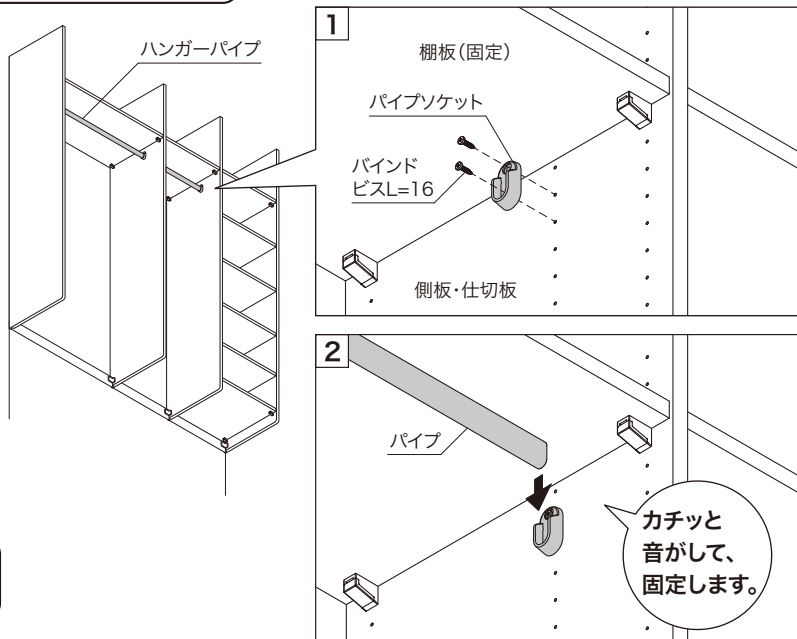
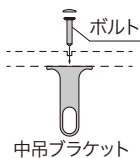
ハンガーパイプを設置する列には必ず各棚板(固定)を取り付けてください。

1 パイプソケットの取り付け

各棚板(固定)から2,3個下のダボ穴にバインドビスL=16で固定してください。

ハンガーパイプを設置する列の間口が900mmを超える場合

中吊ブラケットでの補強が必要です。中吊ブラケット取り付け位置に7mmの下穴をあけ、上からボルトで固定してください。その後、ビスキャップを取り付けてください。



2 パイプの取り付け

取り付け列の間口寸法からソケット厚(両側あわせて15mm)を差し引いた寸法にパイプをカットし、パイプソケットに取り付けてください。

ご注意

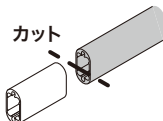
パイプはアルミ製です。専用ノコでカットしてください。

8 フックハンガーの取り付け

取り付け位置詳細：22ページ～

カットする場合

パイプを現場の寸法に合わせてカットします。



ご注意

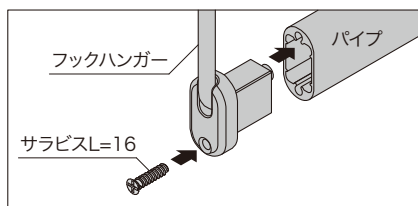
パイプはアルミ製です。専用ノコでカットしてください。また、カットした後、断面の鋭利な部分はヤスリなどで取り除いてください。

1 フックハンガーの組み立て

パイプにフックハンガー部を差し込み、サラビスL=16で固定してください。

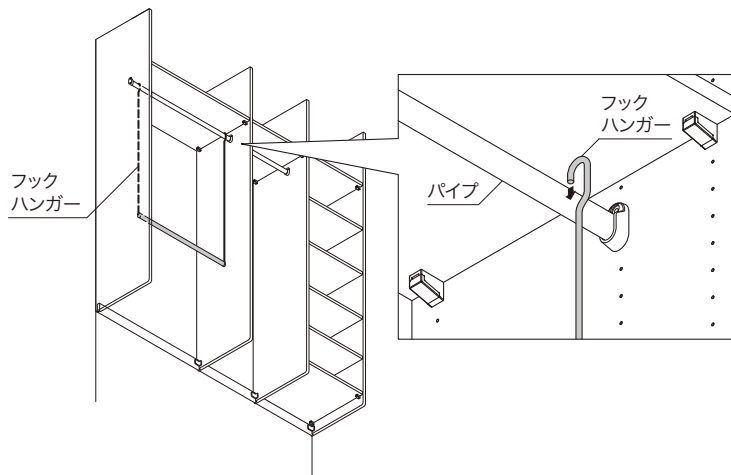
ご注意

- ネジの締め過ぎにご注意ください。
- 電動式ドライバー使用禁止



2 フックハンガーの取り付け

フックハンガーを上側のハンガーパイプに掛けてください。



9 上吊ハンガーパイプの取り付け

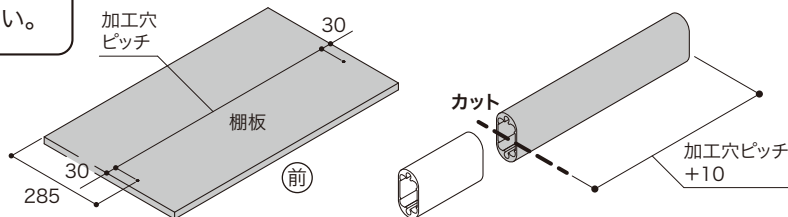
取り付け位置詳細：22ページ～

ご注意

上吊ハンガーパイプは必ず木質の棚板に取り付けてください。

1 下穴加工

右図を参考に、両端ブラケットの取り付け位置に7mmのキリで下穴を開けます。棚板の間口をカットした場合は、パイプも右図を参考に加工穴ピッチ+10mmになるようカットしてください。

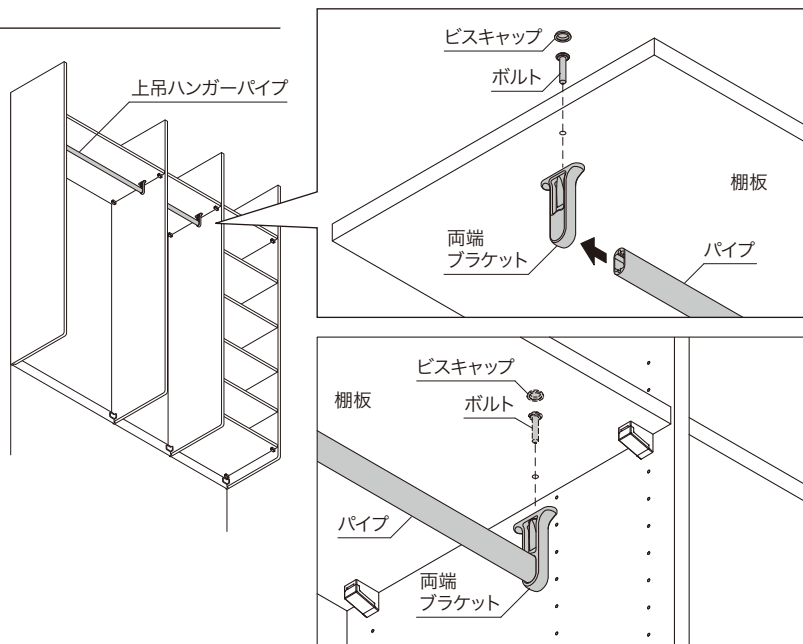


ご注意

パイプはアルミ製です。専用ノコでカットしてください。

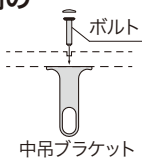
2 パイプの取り付け

下穴に向かって両端ブラケットを取り付け、棚板上部からボルトで固定します。その後、パイプを両端ブラケットに差し込みます。



上吊ハンガーパイプを設置する列の間口が900mmを超える場合

中吊ブラケットでの補強が必要です。中吊ブラケット取り付け位置に7mmの下穴をあけ、上からボルトで固定してください。その後、ビスキャップを取り付けてください。



もう片方の両端ブラケットをパイプへ差し込み、棚板上部からボルトで固定します。

10 リフトハンガーの取り付け

取り付け位置詳細：22ページ～

1 伸縮パイプの仮固定

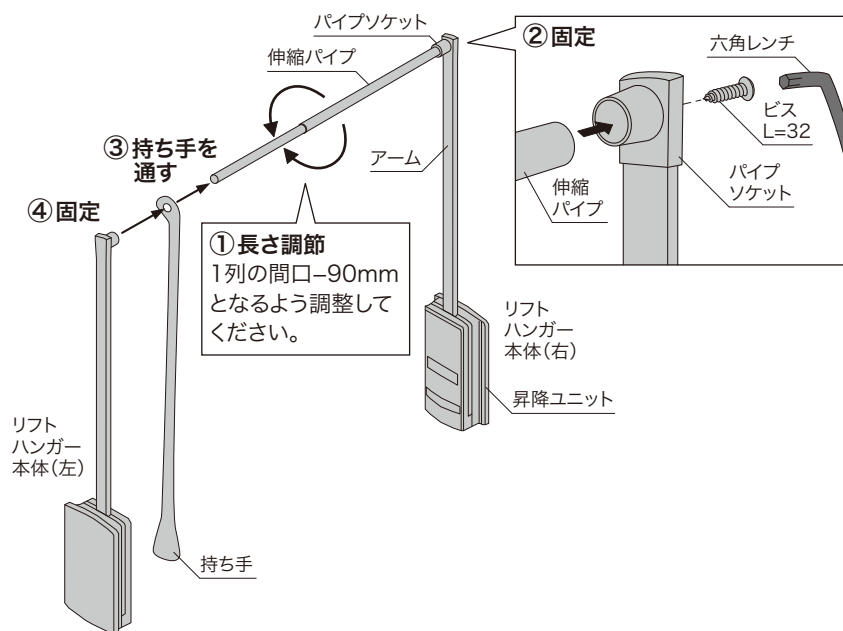
伸縮パイプをねじってゆるめ、長さを調節した後、逆方向にねじり締めます。(右図①)

伸縮パイプを片側のパイプソケットへ差し込み、ビスL=32を六角レンチを使って固定します。(右図②)

その後、伸縮パイプに持ち手を通し、もう片側のリフトハンガーへ同様に固定してください。(右図③、④)

ご注意

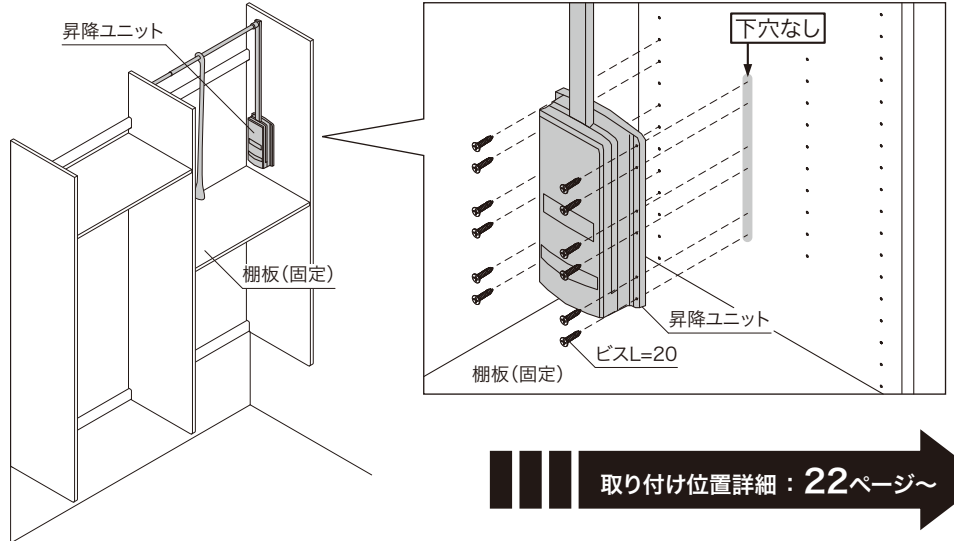
- リフトハンガー本体には左用・右用があります。間違いのないように注意してください。
- 持ち手には前後があります。間違いのないように注意してください。
- ネジの締め過ぎにご注意ください。強度を保てなくなる可能性があります。



2 リフトハンガー本体の固定

取り付け位置を確認後、昇降ユニットをビス
L=20で側板・仕切板へ固定します。

ビス固定位置・・・昇降ユニット1個につき12カ所



取り付け位置詳細：22ページ～

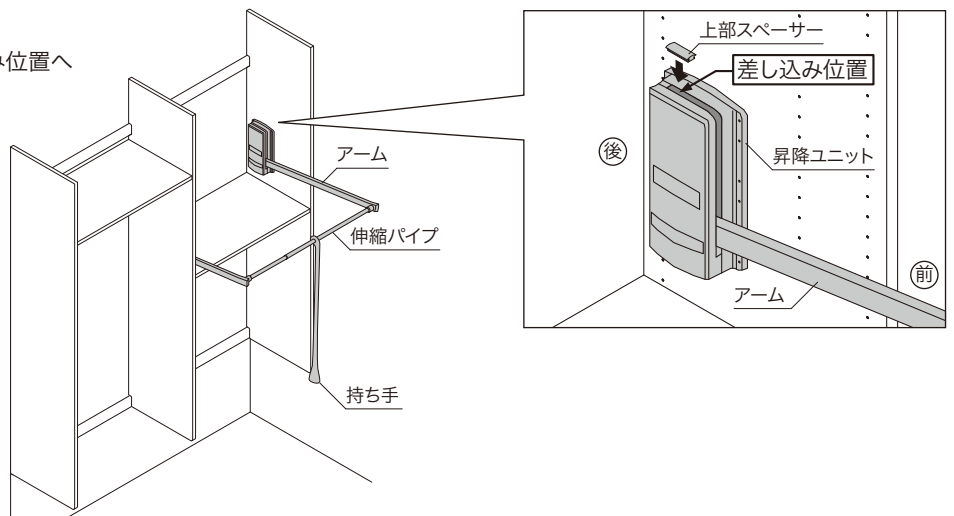
3 上部スペーサーの差し込み

アームを前方へ倒したまま、昇降ユニットの差し込み位置へ
上部スペーサーを差し込みます。

ご注意

上部スペーサーには前後があります。
間違いのないように注意してください。

【断面図】

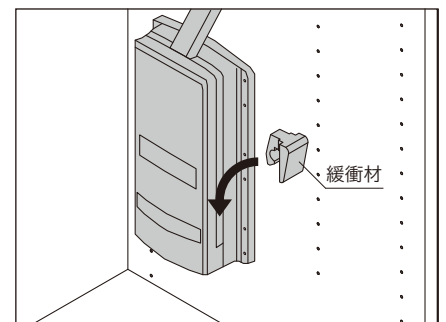


4 緩衝材の差し込み

リフトハンガー本体と伸縮パイプがしっかりと取り付いているか
確認した後、アームを元の位置へ戻し、緩衝材を差し込みます。

ご注意

アームが上部に戻りきるまでは
持ち手を放さず操作してください。



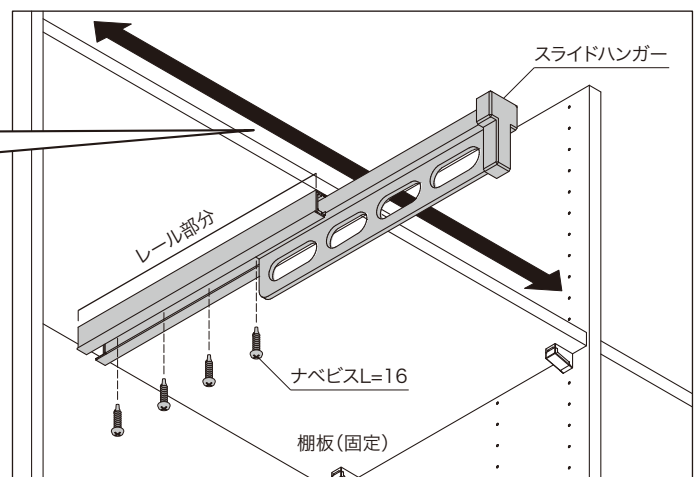
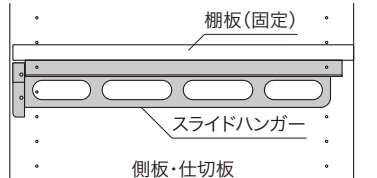
11 スライドハンガーの取り付け

ハンガー部分を最大限に引き出し、レール部分を4箇所、棚板(固定)に
ナベビスL=16で固定します。

ご注意

- 設置には600mm以上の間口が必要です。
- 列の間口のセンターに施工してください。

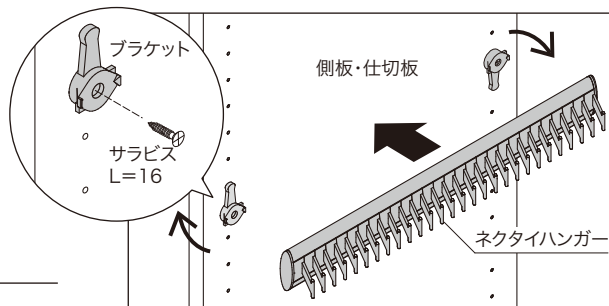
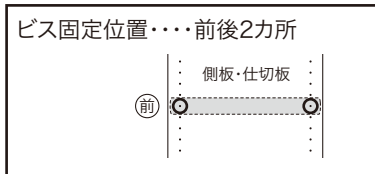
棚板前面にあわせて
壁面と直角になるように
取り付け



12 ネクタイハンガーの取り付け

1 ブラケットの取り付け

ブラケットをサラビスL=16で側板・仕切板に向かって取り付けてください。



2 ネクタイハンガーの取り付け

ネクタイハンガーをブラケットを時計廻りに90°まわしながら押し付けてはめ込んでください。

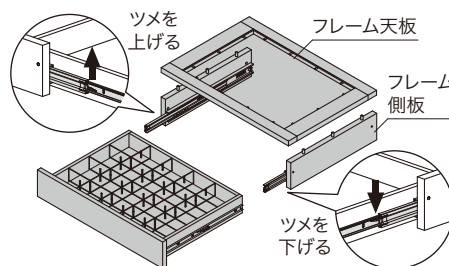
13 ギャラリーケース、スラックスハンガーの取り付け

取り付け位置詳細：21ページ

1 取り付け前の準備

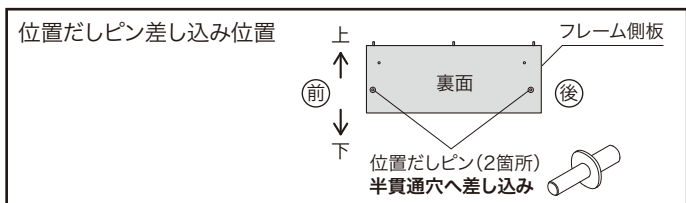
引出し部分を抜き出し、フレームを側板部分と天板部分にばらします。

※図はギャラリーケースで説明していますが、スラックスハンガーも同様に施工してください。



2 フレーム側板の取り付け

位置だしピンを図のように差し込み、フレーム側板の位置を出します。

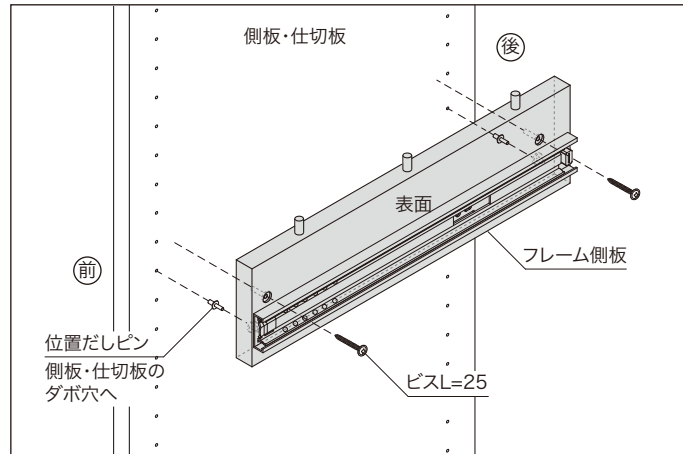


その後、フレーム側板表面の貫通穴からビスL=25で固定します。

ビス固定位置・・・前後2箇所

ご注意

- 重ねて取り付ける場合は下段から順に施工してください。
- フレーム側板は左用・右用があります。間違いのないように注意してください。

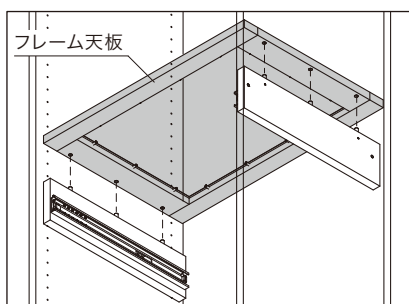


3 フレーム天板の固定

フレーム天板のダボ穴に酢酸ビニル樹脂系接着剤(現場調達)を塗布し、木フレーム側板へ固定後、接着剤がなじむように圧着してください。

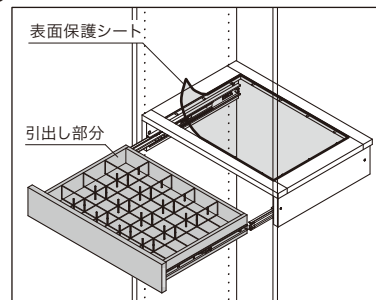
ご注意

- 組み立てには必ず当て木を使用してください。
- 最低24時間静置・養生してください。



4 引出しの差し込み

引出し部分を差し込み、透明パネルの表面保護シートを剥がしてください。



14 フレーム引出しの取り付け

取り付け位置詳細: 21ページ

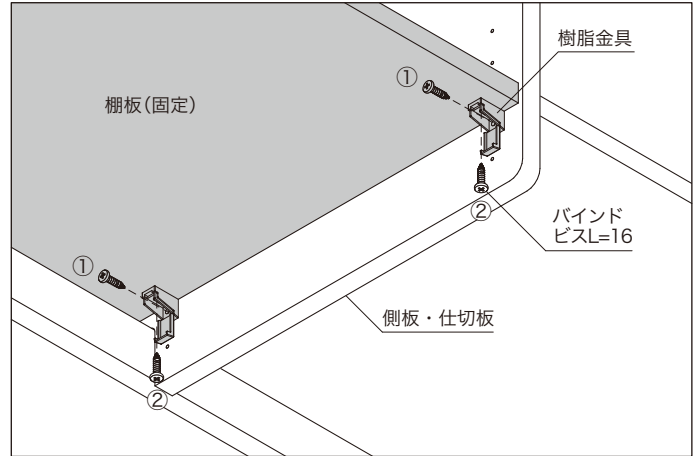
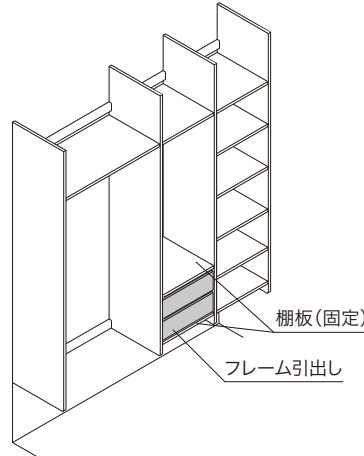
※図はフレーム引出し2段を設置する例で説明しています。フレーム引出し3段・深型フレーム引出し1段も同様に施工してください。

注意

フレーム引出しの上下には必ず棚板(固定)を取り付けてください。複数設置する場合は、最上段・最下段のみです。

1 下側の棚板の取り付け

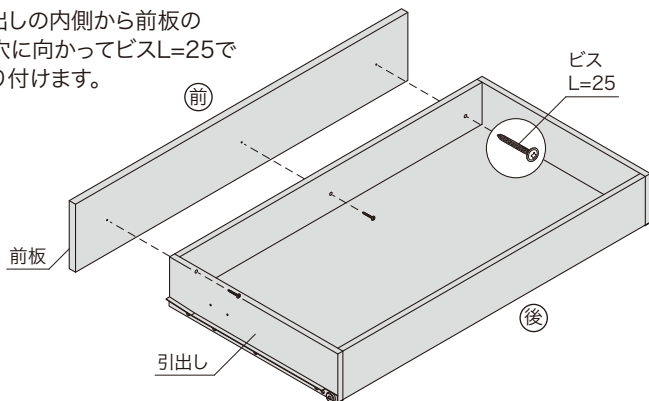
フレーム側板設置位置の2個下のダボ穴へ樹脂金具の正円側をバインドビスL=16で側板・仕切板へ取り付けてください。その後、バインドビスL=16で棚板を固定してください。



2 各パーツの準備

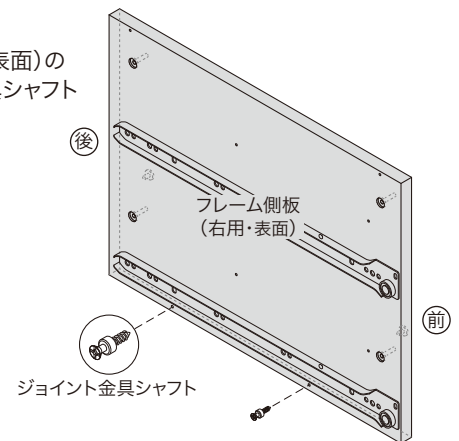
[引出し]

引出しの内側から前板の下穴に向かってビスL=25で取り付けます。



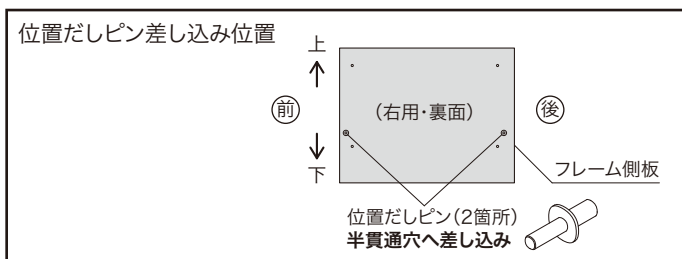
[フレーム側板]

フレーム側板(左右・表面)の下穴にジョイント金具シャフトを取り付けます。



3 フレーム側板の取り付け

位置だしピンを図のように差し込み、フレーム側板の位置を出します。

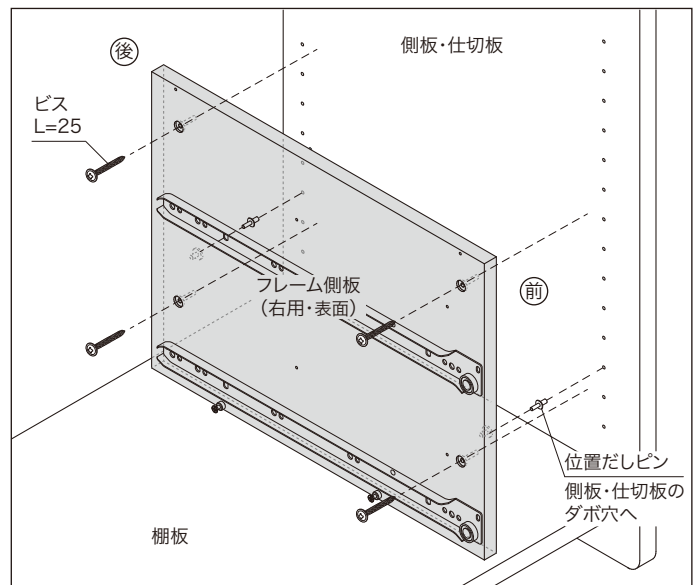


その後、フレーム側板表面の貫通穴からビスL=25で固定します。

ビス固定位置・・・前後2箇所×上部・下部

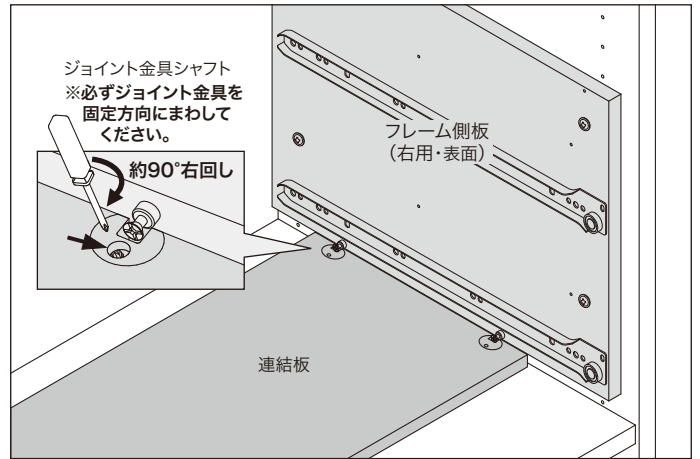
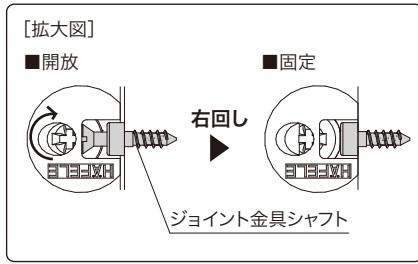
注意

- 複数取り付ける場合は下段から順に施工してください。
- フレーム側板は左用・右用があります。間違いのないように注意してください。



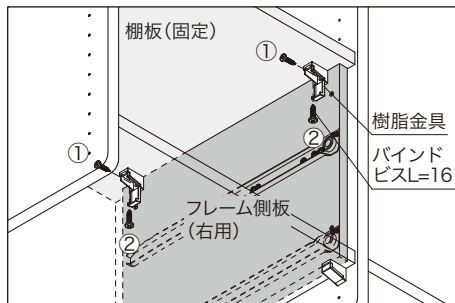
4 フレーム側板へ連結板の取り付け

連結板を下から入れ、ドライバーでジョイント金具シャフトと接続します。



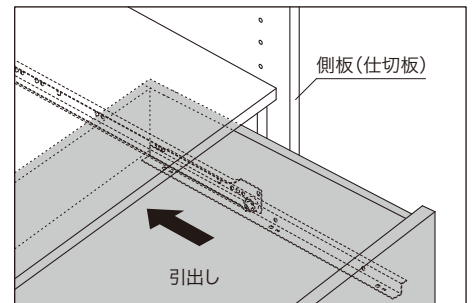
5 上側の棚板の取り付け

棚板(固定)とフレーム側板の上端の下穴を樹脂金具を使って図のように固定してください。



6 引出しの差し込み

引出しをスライドレールに差し込んでください。



15 バスケットの取り付け

取り付け位置詳細: 21ページ

ご注意

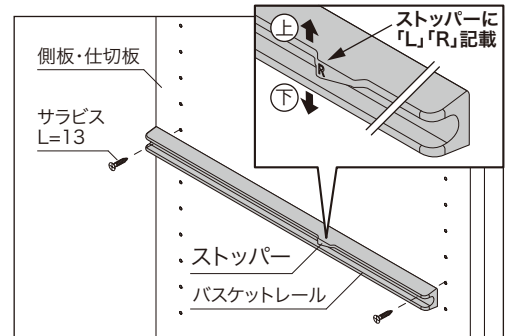
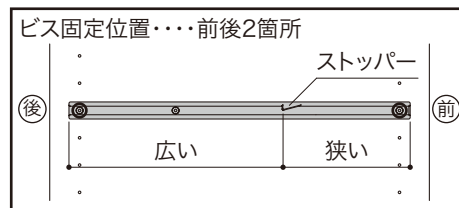
バスケットの上下には必ず棚板(固定)、網棚(固定)のいずれかを取り付けてください。複数設置する場合は、最上段・最下段のみです。

1 バスケットレールの取り付け

側板・仕切板へサラビスL=13を使って図のように固定してください。レールの上下間隔は、ダボ穴5個以上あけて設置してください。

ご注意

- バスケットレールには左用・右用があります。間違いのないように注意してください。
- ビスを強く締めすぎないようにしてください。バスケットレールが破損するおそれがあります。

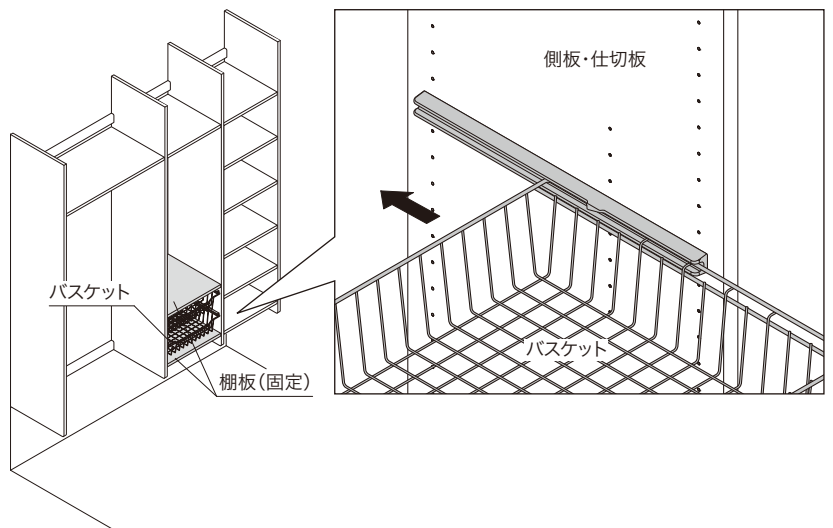
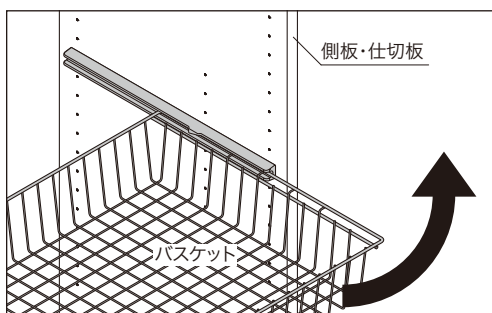


2 バスケットの差し込み

バスケットレールにバスケットを差し込んでください。

バスケットの取り外し

バスケットの手前を持ち上げながら取り外してください。

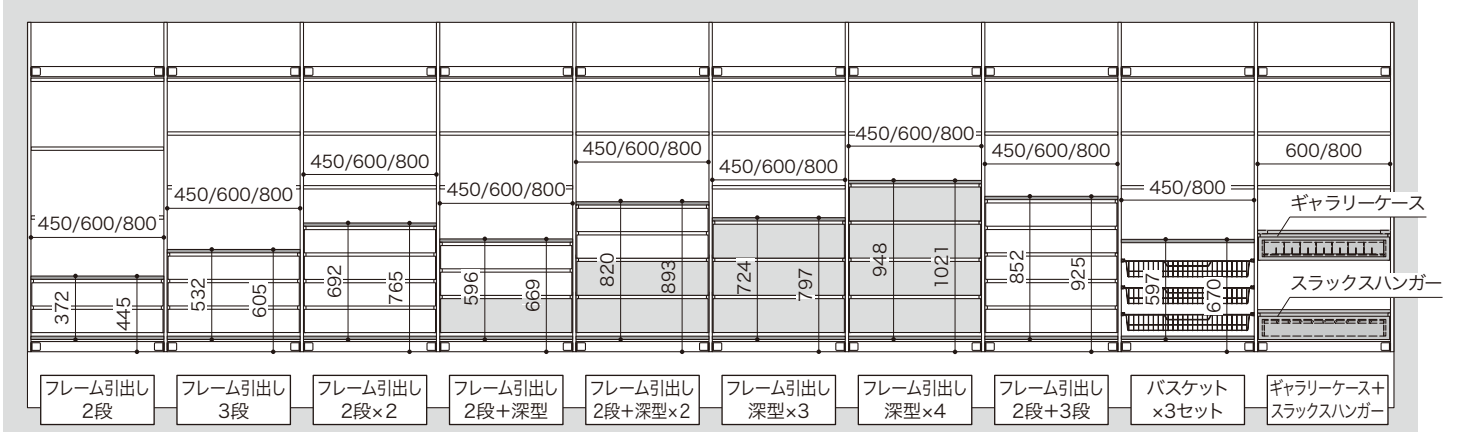


設置位置イメージ

■ フレーム引出し2段・3段・深型フレーム引出し1段、バスケット、スラックスハンガー、ギャラリケース

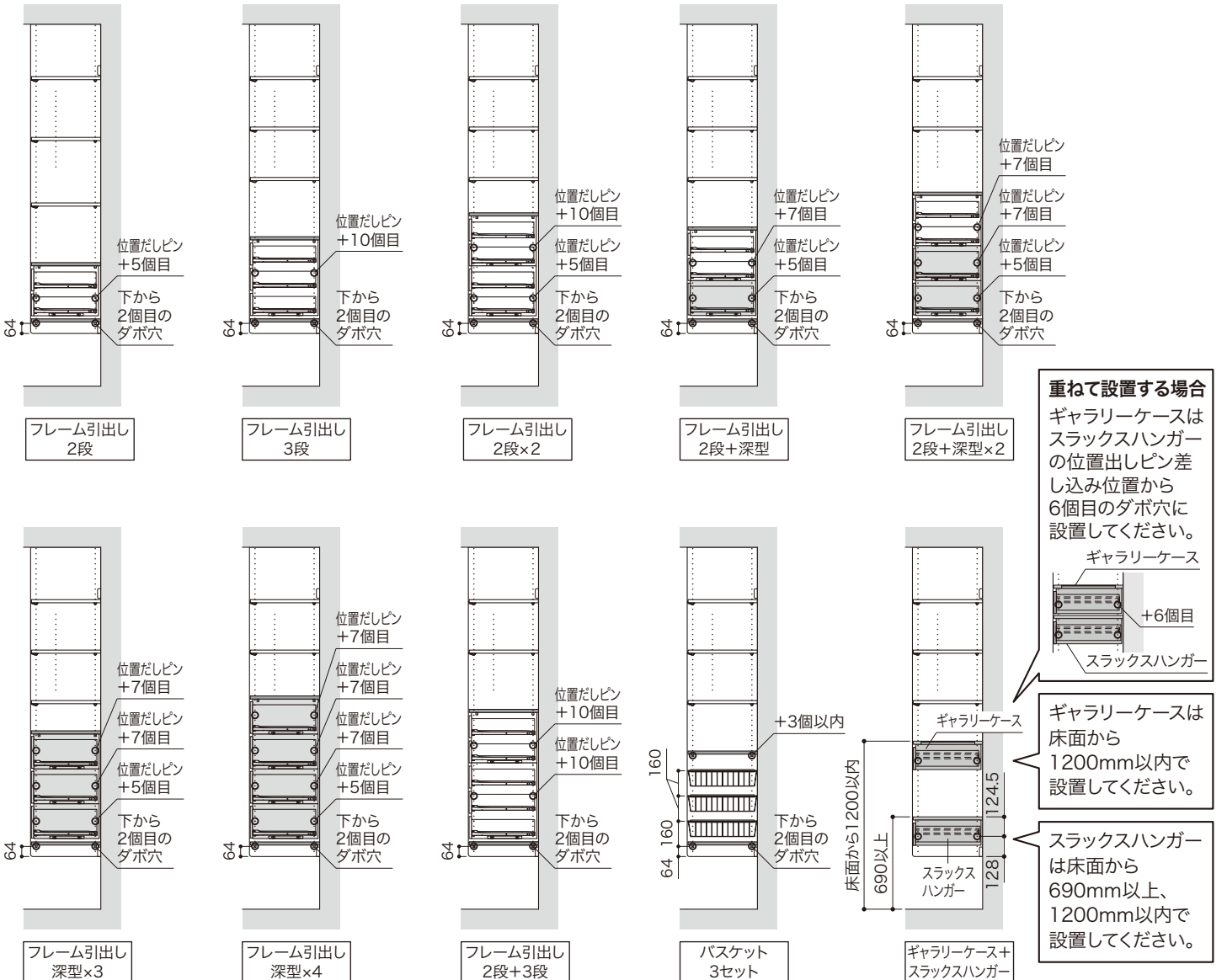
- バスケットの推奨取り付けピッチは160mm(ダボ穴5個分)です。
- 最上部のバスケットの上には必ずバスケットレールを取り付けるダボ穴から3個以内のダボ穴に棚板(固定)、網棚(固定)のいずれかを取り付けてください。
- フレーム引出しを取り付ける場合は、上下に1枚ずつ必ず棚板(固定)を設置してください。
- バスケットを取り付ける場合は、上下に1枚ずつ必ず棚板(固定)、網棚(固定)のいずれかを設置してください。

[正面図]



ビス固定位置/位置だしピン差し込み位置

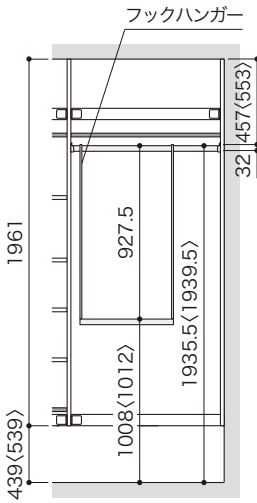
[断面図]



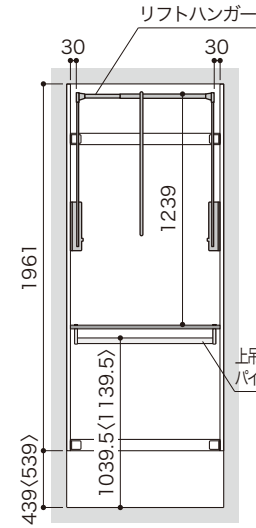
設置位置イメージ

■ ハンガーパイプ、フックハンガー、上吊ハンガーパイプ、リフトハンガー (側板H1961の場合)

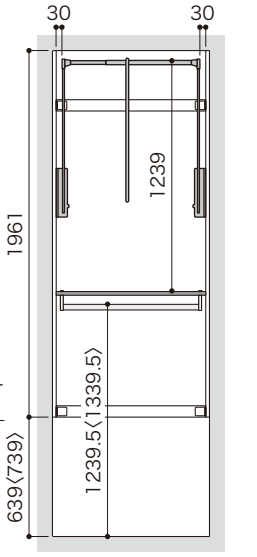
CH2400(2500)
ハンガーパイプ+フックハンガー



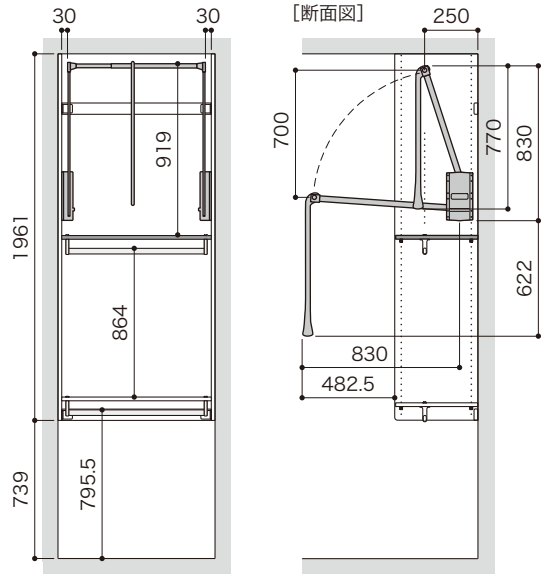
CH2400(2500)
リフトハンガー+上吊ハンガーパイプ



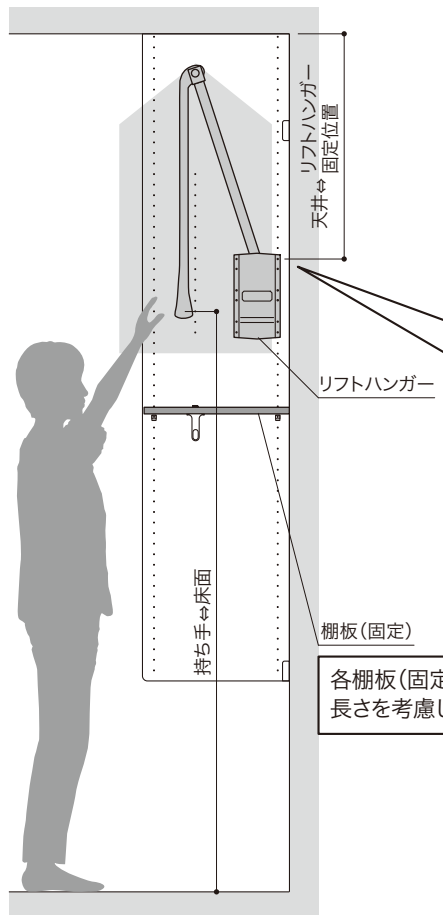
CH2600(2700)
リフトハンガー+上吊ハンガーパイプ



CH2700
リフトハンガー+上吊ハンガーパイプ x2

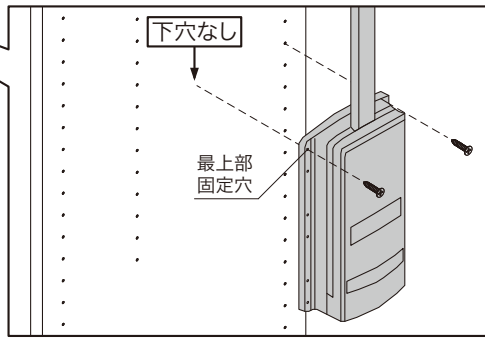


リフトハンガー設置位置詳細: 下表を参考にリフトハンガーの取り付け位置を決定してください。



天井⇔リフトハンガー固定位置 (最上部固定穴までのダボ穴数)	持ち手⇔床面			
	CH2400	CH2500	CH2600	CH2700
681(上から22個目のダボ穴)	1580※1	1680※1	1780※1	1880※2
713(上から23個目のダボ穴)	1548	1648	1748	1848
745(上から24個目のダボ穴)	1516	1616	1716	1816
777(上から25個目のダボ穴)	1484	1584	1684	1784※1

※1: 推奨位置(日本人成人女性の平均身長[157cm]の場合)
※2: 推奨位置(パイプを3段設置する場合)



各棚板(固定)の取り付け位置はリフトハンガーに吊るす収納物の長さを考慮して決定してください。

設置位置イメージ

■ ハンガーパイプ、フックハンガー、上吊ハンガーパイプ (側板H468・660・980の場合)

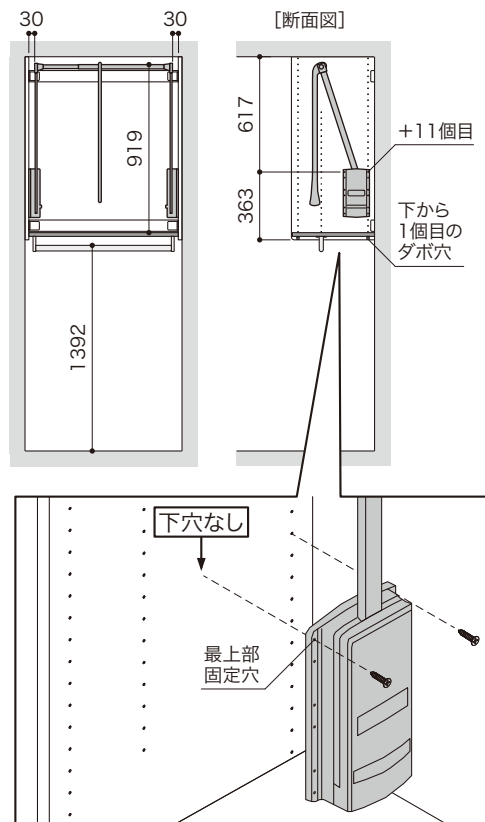
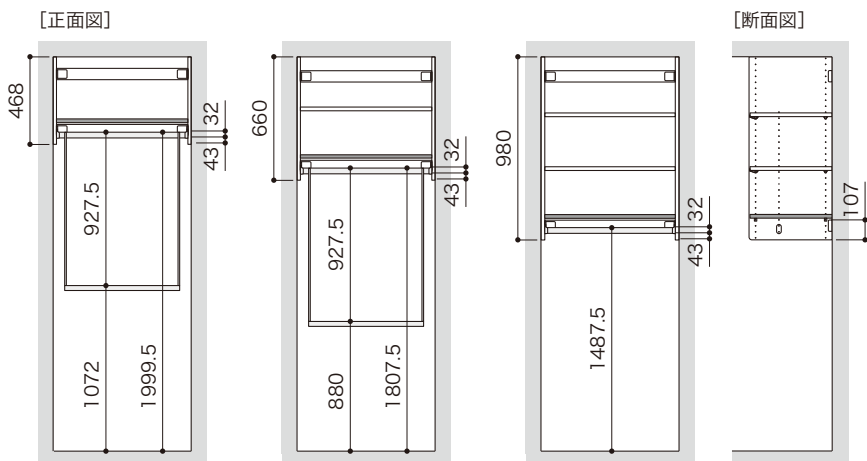
側板 H468

側板 H660

側板 H980

■ リフトハンガー (側板H980の場合)

※側板H468・660プラン:リフトハンガーを
取り付けることはできません。



建築基準法に基づくホルムアルデヒド発散等級表示

製品名:クローゼットシステム収納
ウォールゼットエアロック
製造者名称:南海プライウッド(株)
発散区分:F☆☆☆☆
住宅部品表示ガイドラインによる
ロット番号:製品梱包に記載

-構成材料-

内装仕上部分		下地部分	
ホルムアルデヒド 発散建築材料	発散区分	ホルムアルデヒド 発散建築材料	発散区分
MDF	F☆☆☆☆	MDF	F☆☆☆☆
接着剤	F☆☆☆☆	パーティクルボード	F☆☆☆☆
		合板	F☆☆☆☆
		接着剤	F☆☆☆☆

注意

この用紙は建築基準法に基づく納入部材の確認書類となりますので、大切に保管して工事責任者へ渡してください。

問合せ先:品質管理チーム 087-894-8025